

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-18

令和 2 年 // 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-18

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 7 月 9 日  
至 令和 2 年 11 月 27 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-18

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 9 月 7 日	良	大江 勇人	ボイラー・タービン 主任技術者	なし



関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⊙・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	⊙・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	⊙・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備 安全弁及び逃がし弁 3DW-030A、B：2個 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※2
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0634 ・目視で確認した範囲：3DW-030A ※1：別添1～2参照 ※2：記録で確認した範囲：3DW-030B			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
3DW-030A	系統性能検査 運転性能検査	別添3参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能 検査	圧力計				2019.11.20 2020.11.19	(正)
系統性能 検査	圧力計				2019.11.20 2020.11.19	(副)
以下余白						

# 設 備 概 要

原子炉冷却系統施設

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

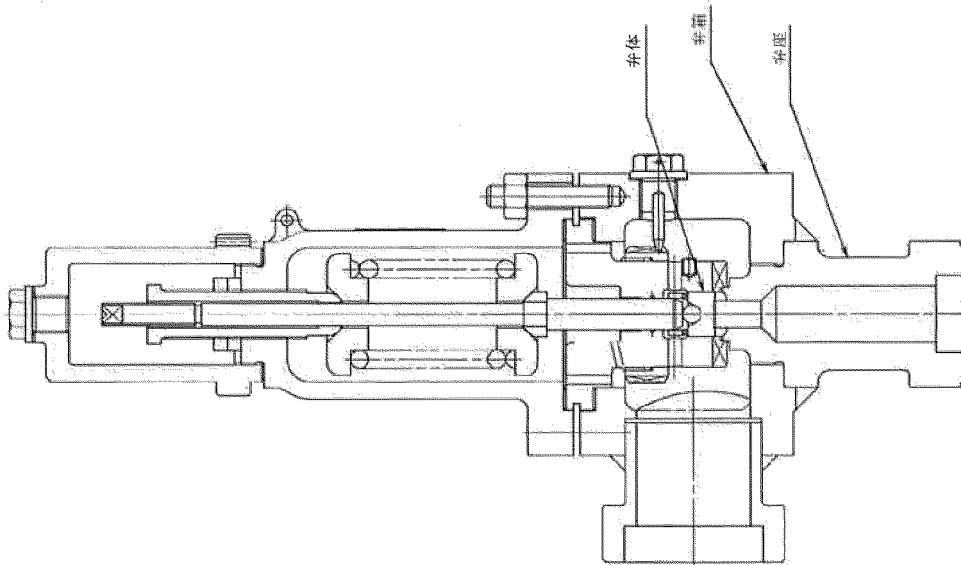
(4) 管等に係る次の事項

ハ 安全弁及び逃がし弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所

変 更 前		変 更 後	
	名 称		3DW-030A、B (注)
種 類	—	非平衡形	
吹 出 圧 力	MPa	0.5	
吹 出 量	kg/h/個		
個 数	—	2	
取付箇所	系 (ライン名)	3DW-030A A電動補助給水ポンプ 純水吸込ライン	3DW-030B B電動補助給水ポンプ 純水吸込ライン
設置床	—		
溢水防護上の番号	—		
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

(注1) 本設備は既存の設備である。

種 類		主 要 目 表	
吹 出 圧 力	MPa	非平衡形	
吹 出 量	kg/h/個	0.5	
個 数		2	
取 付 箇 所	系 統 名 称 (ラ イ ン 番 号)	3DW-030A A電動補助 給水ポンプ 純水吸込ライン	3DW-030B B電動補助 給水ポンプ 純水吸込ライン
	設 置 床 面		
	温 水 防 護 上 の 区 画 番 号		
	温 水 防 護 上 の 配 管 番 号		



検査範囲図

工事計画認可申請 第3-3-23図
美浜発電所 第3号機
原子が冷却系統施設の構造図 (蒸気タービンの附属設備) 3DW-030A、B
関西電力株式会社

運転性能検査記録							
検査対象	項目 (単位)	工事計画 記載値	許容値	確認値	検査年月日	検査 結果	検査方法
3DW-030A	吹出圧力 (MPa)	0.5	0.47~ 0.50 <sup>※1</sup>	0.499	令和 2 年 7 月 9 日	良	目視/ 記録確認
	吹出量 <sup>※3</sup> (kg/h)						
	吹出圧力 (MPa)				令和 年 月 日		目視/ 記録確認
	吹出量 (kg/h)						
	吹出圧力 (MPa)				令和 年 月 日		目視/ 記録確認
	吹出量 (kg/h)						
備考							
※1：許容値はJISによる。							
※2：許容値は工事計画による。							
※3：吹出圧力の結果から吹出量を算出する。							



# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 9 月 24 日	良	柳 健 ■	発電用原子炉 主任技術者 ■ ボイラー・タービン主任技術者 ■	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 9 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 9 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・①	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 9 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検 査 対 象			
原子炉格納施設 圧力低減設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 熱交換器 A格納容器循環冷暖房ユニット 主配管 A格納容器循環冷暖房ユニット～ダクト開放機構 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通気検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 <del>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。</del> <del>※ 適合性確認検査成績書の識別番号</del> ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 9 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A格納容器循環冷暖房ユニット	通気検査	-	良	目視
A格納容器循環冷暖房ユニット ～ ダクト開放機構			良	
備考				

原子炉格納施設

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

口 熱交換器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、伝熱面積、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

名称		変更前	変更後
種類	—		
容量(設計熱交換量) <sup>(1)(2)</sup>	MW/個		A格納容器循環冷却房ユニット <sup>(1)(2)</sup>
管側	最高使用圧力 <sup>(1)(2)</sup>		冷却コイル
	最高使用温度 <sup>(1)(2)</sup>		1.2
胴側	最高使用圧力 <sup>(1)(2)</sup>		161
	最高使用温度 <sup>(1)(2)</sup>		—
伝	最高使用温度 <sup>(1)(2)</sup>		155
	伝熱面積 <sup>(1)(2)</sup>	—	
主要寸法			
	吸込口径		
	吐出口径		
	たて		
	横		
	高さ		
材	材料		
個	数		1

(2/2)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	A格納容器循環ライン
	設置床	-	
	水防画番号 上の	-	
	水防画番号 上の高さ 配慮が必要な	-	

ス 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

名	変更前				変更後				
	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	
名称									
材料									
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備		放射性物質濃度制御設備及び							
				A格納容器 循環冷暖房 ユニット		2,300 × 2,300		3.2 亜鉛鉄板	
				ダクト 開放機構					



- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アニュラス循環ダクト」と記載
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(板厚) 2.3t、3.2t」と記載
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 入口と出口の口径が異なる管である。
- (注7) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。
- (注8) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注9) 本設備は既存の設備である。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 2 年 11 月 26 日 27	良	柴 谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 11 月 26 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 11 月 <sup>26</sup>/<sub>27</sub> 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 2 年 // 月 <sup>26</sup>/<sub>27</sub> 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉冷却系統施設               <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却設備</li> <li>容器                   <ul style="list-style-type: none"> <li>窒素ポンベ（1次系冷却水タンク加圧用）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・原子炉冷却系統施設               <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉格納施設                   <ul style="list-style-type: none"> <li>非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備</li> <li>原子炉補機冷却設備</li> <li>蒸気タービンの附属設備（管等）</li> <li>圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）</li> </ul> </li> <li>主配管</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: middle;">           } 別添1参照         </div> </div>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統性能検査               <ul style="list-style-type: none"> <li>容量確認検査※<sup>1</sup></li> </ul> </li> <li>・系統機能検査               <ul style="list-style-type: none"> <li>通水検査※<sup>2</sup></li> </ul> </li> </ul>	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">記録確認</span>
<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：               <ul style="list-style-type: none"> <li>M3-3-0003、M3-3-0009、M3-3-0014、M3-3-0015</li> <li>M3-3-0016、M3-3-0018、M3-3-0019、M3-3-0025</li> </ul> </li> <li>※1：容器</li> <li>※2：主配管</li> </ul> <p>→ 目視で確認した範囲 ←</p>			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(5) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

		変更前	変更後	
名 称		—	窒素ポンペ (1次系冷却水タンク加圧用)	
種 類	—		一般継目なし鋼製容器	
容 量 (注1)	0/個		[REDACTED]	
最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa			
最 高 使 用 温 度 (注1)	℃			
主 要 寸 法	外 径			mm
	高 さ			mm
	胴 部 厚 さ		mm	
	底 部 厚 さ		mm	
材 料	—		1 (予備1)	
個 数	—	保管場所： [REDACTED]		
取 付 箇 所	—	取付箇所： [REDACTED]		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料  
・常設

		変更前				変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注1) 海水ポンプ ～ A1、A2 海水ストレーナ 及び 中間建屋入口 (B系)	(注2) 0.7	40	(注3)	(注3) 10.0	(注4) SS400	変更なし	(注5) 0.7	40	(注3、6、7)	(注3、6、7) 12.0	(注6、7) SS400
			(注3)	(注3) 914.4	(注4) SS400				(注3、6、7)	(注3、6、7) 12.0	(注6、7) SS400
(注1) A1、A2 海水ストレーナ ～ 中間建屋入口 (A系)	(注2) 0.7	40	(注3)	(注3) 914.4	(注4) SS400	変更なし	(注5) 1.2	40	変更なし		
			(注3)	(注3) 914.4	(注4) SS400				(注3、6、7)	(注3、6、7) 12.0	(注6、7) SS400
原子炉補機冷却設備											

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	長さ (mm)	材料	
原子炉補機冷却設備	0.7 (注2)	40	914.4	12.7	変更なし	SS400 (注4)	
			939	13.0			
中間建屋入口 (A系) ～ レジューサ (36×30)	1.2 (注5)	40	914.4	12.7	914.4	SS400 (注6,7)	
12.7				12.7			



変更前				変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径厚 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	口径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	0.7 (注2)	40	914.4 (注3)	12.7 (注3)	SS400 (注4)	変更なし	変更なし	変更なし	材料
原子炉補機冷却設備	0.7 (注2)	40	914.4 (注3)	12.7 (注3)	SS400 (注4)	914.4 (注3,6)	40 (注6)	12.7 (注3,6)	SS400 (注6)
原子炉補機冷却設備	0.7 (注2)	40	939 (注3)	13.0 (注3)	FCD (注9)	762.0 (注3,6)	40 (注6)	12.7 (注3,6)	SS400 (注6)
原子炉補機冷却設備	0.7 (注2)	40	914.4 (注3)	12.7 (注3)	SS400 (注4)	914.4 (注3,6)	40 (注6)	12.7 (注3,6)	SS400 (注6)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
(注10) 1次系冷却水 クーラー及び2次系 冷却水クーラー行き 分岐点 (A系)	(注2) 0.7	40	(注3) 914.4	(注3) 12.7	(注4) SS400	変更なし	(注5) 0.7	(注5) 40	(注3,6,7) 914.4	(注3,6,7) 12.7	(注6,7) SS400
1次系冷却水 クーラー及び2次系 冷却水クーラー行き 分岐点 (B系)						変更なし			(注3,6) 914.4	(注3,6) 12.7	(注6) SS400

変更前					変更後						
名称	最高圧力 (MPa)	最高温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高圧力 (MPa)	最高温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注11) 0.7	40	(注3) 762	(注3) 12.0	(注4) SS400	変更なし	変更なし	40	762.0	12.0	SS400
	レジャーサ (36×30) ～ B1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点	(注2) 0.7	40	(注3) 762	(注3) 12.0		(注4) SS400				
原子炉補機冷却設備						変更なし	1.2	40	(注3,6,7) 762.0	(注3,6,7) 12.0	(注6,7) SS400
									(注3,6) 914.4	12.7	(注6) SS400
									(注3,6) 762.0	12.0	(注6,7) SS400
								(注3,6) 762.0	12.0	(注6) SS400	
									609.6	12.0	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
レジュューサ (36×30) ～ B1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点	(注11)					変更なし	(注5) 1.2	(注6) 40	(注3,6) 762.0 / 762.0 / -	(注3,6) 12.0 / 12.0 / -	(注6) SS400

変更前		変更後									
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	0.7	40	762	12.0	SS400	変更なし	0.7	40	762.0	12.0	SS400
1次系冷却水						変更なし	(注3, 6, 7)		(注3, 6, 7)	12.0	(注6, 7)
クォーラ及び2次系冷却水クォーラ行き分岐点 (B系)							(注3, 6)		(注3, 6)	762.0	12.0
原子炉補機冷却設備						変更なし	0.7	40	762.0	12.0	SS400
B1次系冷却水クォーラ											
入口海水母管分岐点											

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注12)	(注2)	(注3)	(注3)	(注4)	原子炉補機冷却設備	変更なし	40	609.6	12.0	SS400
		0.7	40	609.6	12.0						
A1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点 ～ A1次系冷却水 クーラ						変更なし	0.7	40	(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)
									609.6	12.0	SS400
								(注5)	(注3, 6)	(注5)	(注5)
									609.6	12.0	SS400
									609.6	12.0	SS400

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
原子炉補機冷却設備	(注12) 0.7	40	(注2) 609.6	(注3) 12.0	(注4) SS400	原子炉補機冷却設備	変更なし	(注5) 1.2	40	609.6	12.0	(注6) SS400
							変更なし					
B1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点 ～ B1次系冷却水 クーラ 入口配管分岐点 (海水側)	(注2) 0.7	40	(注2) 609.6	(注3) 12.0	(注4) SS400	原子炉補機冷却設備	変更なし	(注5) 1.2	40	609.6	12.0	(注6) SS400
							変更なし					

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注13)	(注2) 0.7	40	(注3) 609.6	(注3) 12.0	(注4) SS400	変更なし	変更なし	40	(注3,6,7) 609.6	(注3,6,7) 12.0	(注6,7) SS400
			(注3) 762	(注3) 12.0	(注4) SS400				(注3,6,7) 762.0	(注3,6,7) 12.0	(注6,7) SS400
原子炉補機冷却設備	C1次系冷却水 クォーラ 入口海水母管 分岐点 ～ C1次系冷却水 クォーラ		-			変更なし	0.7	40	(注3,6) 762.0	(注3,6) 12.0	(注6) SS400
									(注3,6) 609.6	(注3,6) 12.0	(注6) SS400
原子炉補機冷却設備									(注3,6) 609.6	(注3,6) 12.0	(注6) SS400



変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
(注14) 1次系冷却水 クレー ～ A、B、C	(注2) 0.7	40	(注3) 609.6	(注3) 12.0	(注4) SS400	変更なし	(注3, 6, 7) 609.6	(注3, 6, 7) 12.0	(注3, 6, 7) 609.6	(注3, 6, 7) 12.0	(注6, 7) SS400
1次系冷却水 クレー ～ A、B、C	(注5) 0.7	40	(注5) —	(注5) —	(注5) —		(注3, 6) 609.6	(注3, 6) 12.0	(注3, 6) —	(注3, 6) —	(注6) SS400
出口海水母管 合流点	(注2) 0.7	40	(注3) 762	(注3) 12.0	(注4) SS400		変更なし				
(注15) B1次系冷却水 クレー ～ 出口海水母管 合流点 ～ フランジ (30×28)	(注2) 0.7	40	(注3) 762	(注3) 12.0	(注4) SS400	変更なし	(注5) 0.7	(注5) 40	(注3, 6, 7) 762.0	(注3, 6, 7) 12.0	(注6, 7) SS400
出口海水母管 合流点 ～ フランジ (30×28)	(注5) 0.7	40	(注5) —	(注5) —	(注5) —		変更なし				

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	材料
(注16)					(注3,6)	(注3,6)	
原子炉補機冷却設備							
B1次系冷却水 クーラ 出口海水母管 合流点 ～ フランジ (30×28)					762.0	12.0	(注6) SS400
					762.0	12.0	
					609.6	12.0	
	0.7	40			(注3,6)	(注3,6)	(注6) SS400
					762.0	12.0	
					762.0	12.0	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>フランジ (30×28)</del>	<del>(注2) 0.7</del>	<del>40</del>	<del>733</del>	<del>(注3) 11.0</del>	<del>(注4) FC1</del>	原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
<del>フランジ (30×28)</del>	<del>(注2) 0.7</del>	<del>40</del>	<del>733</del>	<del>(注3) 11.0</del>	<del>(注4) FC1</del>						
フランジ (30×28)	(注2) 0.7	40	762	(注3) 12.0	SS41	変更なし	変更なし	変更なし	762.0	(注3、6) 12.0	(注6) SS41
ラプチャディスプレイ への分岐点						変更なし	変更なし	変更なし	(注5) 40	(注3、6) 12.0	(注6) SS41

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ	材
原子炉補機冷却設備	フランジ (30×28) ～ ラプチャヤディスク への分岐点			—			
原子炉補機冷却設備	変更なし	0.7 <small>(注6)</small>	40 <small>(注6)</small>	762.0 <small>(注3,6)</small>	12.0 <small>(注3,6)</small>		SS41 <small>(注6)</small>
				609.6	12.0		

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注24) 0.98	95	(注3) 406.4	(注3) 9.5	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし	95	(注3,6) 406.4	(注3,6) 9.5	(注6) SS41
	A、C1次系冷却水クローラ ～ A、C1次系冷却水クローラ出口合流点	(注2)									
							0.98		(注3,6) 406.4	(注3,6) 9.5	(注6) SS41

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注24)											
原子炉補機冷却設備	(注2)	95	406.4	9.5	SS41	原子炉補機冷却設備		変更なし			
B1次系 冷却水クローラ ～ 弁 (3V-5122B) 前合流点							(注5)	95	406.4	9.5	SS41
	0.98					変更なし	(注6)		(注3, 6, 7)		(注6, 7)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注24)	(注2)	95	406.4	9.5	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし (注5)	95	406.4	9.5	SS41
	0.98										
弁 (3V-5122B) 前合流点 ～ B1次系 冷却水クローラ 出口合流点 及び 弁 (3MOV-5125)						変更なし	1.2		406.4	9.5	SS41
原子炉補機冷却設備						変更なし	1.2	95	406.4	9.5	SS41
									508.0	9.5	SS41
									508.0	9.5	SS41
									406.4	9.5	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>(注20) A1次系冷却水 クレーラ出口合流点 ～ レジューサ (20×14)</del>	<del>(注22) 0.98</del>	<del>95</del>	<del>(注32) 508.0</del>	<del>(注33) 9.5</del>	<del>SS41</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>
原子炉補機冷却設備	(注26) 0.98	95	(注33) 508.0	(注33) 9.5	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし (注5) 1.2	95	(注3, 6, 7) 508.0	(注3, 6, 7) 9.5	(注6, 7) SS41
C1次系冷却水 クレーラ出口合流点 ～ レジューサ (20×14)						変更なし	(注5) 1.2	95	(注3, 6) 508.0	(注3, 6) 9.5	(注6) SS41



変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備 弁 (3MOV-5125) ～ 格納容器循環 冷却房ユニット 冷却ライン レジューサ (16×12)	(注2) 0.98	95	(注3) 406.4	(注3) 9.5	SS41	原子炉補機冷却設備 変更なし	変更なし (注6) 1.2	95	406.4	9.5	SS41 (注6)
							(注3,6,7) 406.4				
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備 変更なし	1.2 (注6)	95 (注6)	406.4 /	9.5 /	SS41 (注6)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注31)	(注2)	95	(注3)	(注3)	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
	0.98		406.4	9.5							
格納容器循環 冷暖房ユニット 戻り母管合流点 ～ 弁 (3MOV-5131)						変更なし	(注5)	(注5)	(注3, 6)	(注3, 6)	(注6, 7)
							0.98	161	406.4	9.5	SS41
(注31)	(注2)	95	(注3)	(注3)	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
	0.98		406.4	9.5							
弁 (3MOV-5131) Cヘッド 1次系冷却水 戻り母管合流点						変更なし	(注5)	(注5)	(注3, 6)	(注3, 6)	(注6, 7)
							0.98	161	406.4	9.5	SS41

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注33)											
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
Bヘッド1次系冷却水戻り母管合流点	(注2) 0.98	95	(注3) 508.0	(注4) 9.5	SS41	変更なし					
～											
Bヘッド1次系冷却水タンク連絡配管合流点							(注6) 0.98	(注5) 95	(注3, 6, 7) 508.0	(注3, 6, 7) 9.5	(注6, 7) SS41

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
(注33) A、Bヘッド 1次系冷却水 タンク連絡配管 合流点 ～	(注2) 0.98	95	(注3) 508.0	(注3) 9.5	SS41	変更なし	(注6) 0.98	95	(注3,6,7) 508.0	(注3,6,7) 9.5	(注5,7) SS41
原子炉補機冷却設備											
(注34) A1次系冷却水 ポンプ入口分岐点 ～ D1次系冷却水 ポンプ入口分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 508.0	(注3) 9.5	SS41	変更なし	変更なし	変更なし (注6) 161	変更なし		

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	材料
(注34)					(注3,6)	(注3,6)	
原子炉補機冷却設備					508.0	9.5	(注6)
A1次系冷却水ポンプ入口分岐点					508.0	9.5	SS41
～					508.0	9.5	
D1次系冷却水ポンプ入口分岐点	0.98	161			508.0	9.5	SS41
					406.4	9.5	
					(注3,6)	(注3,6)	
					508.0	9.5	(注6)
					508.0	9.5	SS41
					406.4	9.5	

変更前				変更後									
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注36)													
A、B、C、D 1次系冷却水 ポンプ入口分岐点	(注2) 0.98	95	406.4	(注3) 9.5		SS41	変更なし  原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし				
A、B、C、D 1次系冷却水 ポンプ								(注5) 0.98	(注5) 161	(注3, 6, 7) 406.4	(注3, 6, 7) 9.5		(注6, 7) SS41

変更前				変更後									
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	厚さ (mm)	材料
<small>(注36)</small> A、B、C、D 1次系冷却水 ポンプ出口 レジューサ (16×12) ~ A、B、C、D 1次系冷却水 ポンプ出口合流点	<small>(注2)</small> 0.98	95	406.4	9.5	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし	<small>(注5)</small> 0.98	変更なし	<small>(注5)</small> 161	406.4	9.5	SS41
									<small>(注3)</small> 0.98				
原子炉補機冷却設備							変更なし	<small>(注6)</small> 0.98	<small>(注6)</small> 161	<small>(注3,6)</small> 406.4 / 323.9	<small>(注3,6)</small> 9.5 / 9.5	<small>(注6)</small> SS41	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注2) 0.98	95	(注3) 508.0	(注3) 9.5	SS41	変更なし	変更なし	変更なし	161	変更なし	変更なし
	(注37) A1次系冷却水 ポンプ出口合流点 ～ D1次系冷却水 ポンプ出口合流点	(注2) 0.98	95	(注3) 508.0			(注3) 9.5	(注3,6) 508.0			
原子炉補機冷却設備						変更なし					



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注38)	(注2)	95	(注3)	(注3)	SS41		変更なし	変更なし		変更なし	
	0.98		508.0	9.5				161			
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
A、D1次系 冷却水ポンプ 出口合流点 ～ A、C1次系 冷却水クローラ 入口分岐点						変更なし	(注6)	(注5)	(注3、6、7)	(注3、6)	(注6、7)
							0.98	161	508.0	9.5	SS41
									508.0	9.5	
									508.0	9.5	SS41
									406.4	9.5	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa) (注2)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) (注3)	径厚 (mm) (注3)	材料	名称	最高使用圧 (MPa) (注5)	最高使用温度 (°C) (注5)	外径 (mm) (注3, 6, 7)	径厚 (mm) (注3, 6, 7)	材料 (注6, 7)
(注39)	0.98	95	508.0	9.5	SS41	原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし	508.0	9.5	SS41
A1次系冷却水 クォーラ入口 分岐点 ～ C1次系冷却水 クォーラ入口 分岐点							変更なし	0.98	161	508.0	9.5
原子炉補機冷却設備									508.0	9.5	SS41



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注47) A、Bヘツダ 1次系冷却水 タンク連絡配管 合流点 ～ 弁 (3V-5105A、B)	(注2) 0.98	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPG42	変更なし	(注5) 0.98	(注5) 95	(注3、6、7) 114.3	(注3、6、7) 6.0	(注6、7) STPG42

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注48) 弁 (3V-5105A、B)	(注2) 0.34	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPG42	変更なし	(注5) 0.34	95	(注5) 114.3	(注6、7) 6.0	(注6、7) STPT42
~ 1次系 冷却水タンク											
原子炉補機冷却設備											
(注49) 1次系冷却水 母管分岐点 (A)燃料ピット クレーラ行)	(注2) 0.98	95	(注3) 273.1	(注3) 9.3	STPG42	変更なし	(注5)	95	(注5)	(注6、7)	(注6、7)
~ A燃料 ピットクレーラ											

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	0.98 (注2)	95	(注3.17)	(注3.17)	(注17)	変更なし	変更なし (注5) 1.2		267.4	9.3	STPT38
			(注3.50)	(注3.50)	(注50)						
			(注3)	(注3)	(注3)						
1次系冷却水 母管分岐点 (B燃料ピット クローラ行) ～ B燃料 ピットクローラ 冷却水 入口配管分岐点	0.98 (注2)	95	267.4 (注3.50)	9.3 (注3.50)	STPT370 (注50)	変更なし	1.2 (注6)	95 (注6)	273.1 (注3.6,7)	9.3 (注3.6,7)	STPT42 (注6,7)
			273.1 (注3)	9.3 (注3)	STPG42				273.1 (注3.6)	15.1 (注3.6)	STPG42 (注6)

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料
原子炉補機冷却設備	B燃料ピット クロー戻り配管 合流点 Dヘッダ1次系 冷却水戻り母管 合流点	(注3)	95	(注3, 17)	(注3, 17)	(注17)	変更なし
		0.98		267.4	9.3	STPT38	
				(注3, 50)	267.4	9.3	
			(注3)	273.1	9.3	STPG42	
原子炉補機冷却設備				変更なし			
原子炉補機冷却設備				変更なし			
		(注5)	95	(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注5, 7)	変更なし
		0.98		267.4	9.3	STPT38	
				(注3, 7)	267.4	9.3	
			(注3, 6, 7)	273.1	9.3	STPT42	(注6)
			(注3, 6)	273.1	15.1	STPG42	(注6)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)	径厚(mm)	材料	名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)	径厚(mm)	材料
(注56)	(注2)	95	(注3)	(注3)	STPG42	原子炉補機冷却設備	変更なし	95	88.9	5.5	STPG42
	0.98		88.9	5.5			1.2				
1次系冷却水母管分岐点 ～ Bスプレ 余熱除去ポンプ室 冷却房ユニット 冷却ライン 入口配管分岐点						変更なし	(注5)	(注5)	(注3,6)	(注3,6)	(注6)
原子炉補機冷却設備						変更なし	1.2	95	88.9	5.5	STPG42



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>原子炉補機冷却設備</del>											
(注58) 1次系冷却水 母管分岐点 ～ A充てん/高圧 注入ポンプ室 冷暖房ユニット 冷却ライン分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPG42	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
(注58) 1次系冷却水 母管分岐点 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ室 冷暖房ユニット 冷却ライン分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPG42	変更なし	1.2	(注5) 95	(注3, 6, 7) 114.3	(注3, 6, 7) 6.0	(注6, 7) STPT42
							1.2	(注5) 95	(注3, 6) 114.3	(注3, 6) 8.6	(注6) STPG42

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注58) 1次系冷却水 母管分岐点 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ室 冷暖房ユニット 冷却ライン分岐点						原子炉補機冷却設備					
(注58) 充てん/高圧 注入ポンプ室 冷暖房ユニット 冷却ライン分岐点 ～ レジェューサ (注2)	(注2) 0.98	95	114.3	6.0	STPG42		(注5) 1.2	95	114.3	6.0	STPT42 (注6)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注60) Bスプレ 余熱除去ポンプ室 冷却房ユニット 冷却ライン 入口配管分岐点 ～ B余熱除去ポンプ 冷却ライン分岐点	(注2) 0.98	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STP042	変更なし	変更なし (注5) 1.2	95	(注6) 61.1	変更なし	(注6,7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
							(注3,6,7) (差し込み 部の内径) 6.0				



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
Bスプレ						変更なし					
余熱除去ポンプ室											
冷却房ユニット											
冷却ライン											
入口配管分岐点											
～											
B余熱除去ポンプ											
冷却ライン分岐点											

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
(注61) A余熱除去ポンプ	(注2) 0.98	95	(注3,17) 21.3	(注8,14) 2.8	(注17) STPG42	原子炉補機冷却設備	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
冷却ライン分岐点 ～			(注3) 48.3	(注3) 3.7	STPG42						
A余熱除去ポンプ			(注3,17) 21.3	(注3,17) 2.8	(注17) STPG42						
(注61) B余熱除去ポンプ	(注2) 0.98	95	(注3) 48.3	(注3) 3.7	STPG42	変更なし	変更なし (注6)	1.2	変更なし	変更なし	変更なし
冷却ライン分岐点 ～					STPG42						
B余熱除去ポンプ											



変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注6)					原子炉補機冷却設備			(注6)	(注6)	(注6)
B余熱除去ポンプ 冷却ライン分岐点 ～ B余熱除去ポンプ			—			変更なし	(注5) 1.2	(注5) 95	(穴径) 40.5 — (穴径) 40.5	(最小) 5.5 — (最小) 5.5 (注3) (5.5 — 5.5)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)



変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注61)									(注3, 6)	(注6)	
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備			(差し込み部の内径)	(最小) 5.5	(注6)
B余熱除去ポンプ 冷却ライン分岐点 ~ B余熱除去ポンプ			—			変更なし	(注5) 1.2	(注5) 95	48.7	(最小) 5.5	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備									(差し込み部の内径)	(5.5)	(注3)
									48.7	—	
										5.5	

変更前				変更後							
名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材 料
原子炉補機冷却設備 B余熱除去ポンプ ～ 出口配管分岐点	0.98 (注2)	95	(注3, 17)	(注3, 17)	(注17)	原子炉補機冷却設備 変更なし	変更なし (注5)	1.2	変更なし	変更なし	変更なし
			21.3	2.8	STPG42						
			(注3)	(注3)	STPG42						
			(注3, 21)	(注3, 21)	(注21)						
			48.3	3.7	STPG410						

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注6)					原子炉補機冷却設備	1.2	95	48.3	3.7	(注7) STPT410
B余熱除去ポンプ ～ 出口配管分岐点						変更なし			(注3) 48.6	3.7	(注9) STPT410
									(注3, 6, 7) (差し込み部の内径) 21.7	(注6, 7) (最小) 4.0	(注6, 7) ASTM A105 Gr II (S25C相当) (注8) (4.0)

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注6.6)									(注6.7)	(注6.7)	(注6.7)
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備			(差し込み部の内径) 48.7	(最小) 5.5	ASTM A105 Gr II (S25C) 相当
B余熱除去ポンプ ～ 出口配管分岐点						変更なし	1.2	95	(注3.6)	(注3.6)	(注6)
									(穴径) 15.4	4.0 /	ASTM A105 Gr II (S25C) 相当
									(穴径) 15.4	(注3) 4.0 /	(注3) 4.0 /

変更前					変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注55)						(注6)		(注3、6)	(注6)	
原子炉補機冷却設備					原子炉補機冷却設備				(最小) 5.5	(注6)
B余熱除去ポンプ ～ 出口配管分岐点					変更なし	(注6)		(差し込み部の内径) 48.7	—	(注6)
						1.2	95	—	—	ASTM A105 GrII (S25C 相当)
								(差し込み部の内径) 48.7	(5.5)	(注3)
								48.7	—	
									5.5	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備 格納容器循環 冷却房ユニット 冷却ライン レジュエーサ (16×12) ～ 弁 (3MOV-5160A)	(注2) 0.98	95	(注1) 323.9	(注3) 9.5	STPG42	変更なし	(注5) 1.2	95	(注3,6,7) 323.9	(注3,6,7) 9.5	変更なし STPT42
	(注67)										
<del>原子炉補機冷却設備 格納容器貫通部 PEA#550</del>	<del>(注2) 0.98</del>	<del>95</del>	<del>(注1) 323.9</del>	<del>(注3) 9.5</del>	<del>STPG42</del>	<del>変更なし</del>	<del>(注5) 1.2</del>	<del>138</del>	<del>(注3,6,7) 323.9</del>	<del>9.5</del>	<del>変更なし</del>

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
(注67)	(注2)	95	(注3) 323.9	(注3) 9.5	STPG42						
原子炉補機冷却設備	0.98	95	323.9	9.5	STPG42	原子炉補機冷却設備					
格納容器貫通部 PEN#256 ～ A格納容器循環 冷却房ユニット 冷却ライン 入口分岐点						変更なし	(注5) 1.2	(注6) 138	(注3,6) 323.9 /	(注3,6) 10.3 /	(注6) STPT42
									(注3,6) 273.1	(注3,6) 9.3	(注6) STPT42
									273.1	9.3	
									/	/	
									-	-	
									/	/	
									168.3	7.1	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>原子炉補機冷却設備</del>											
(注103) A格納容器循環 冷却房ユニット 冷却ライン 入口分岐点 ～ レジューサー (10×6)	(注2) 0.98	95	(注3) 273.1	(注3) 9.3	STPG42			(注19) —			
<del>原子炉補機冷却設備</del>											
(注60) A格納容器循環 冷却房ユニット 冷却ライン 入口分岐点 ～ A格納容器循環 冷却房ユニット行 レジューサー (6×4)	(注2) 0.98	95	(注3) 168.3	(注3) 7.1	STPG42	変更なし	(注6) 1.2	(注6) 138	(注3, 6, 7) 168.3	(注3, 6, 7) 7.1	(注6, 7) STPT42



変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材 料
(注69)									(注3,6)	(注3,6)	(注6)
A格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却ライン 入口分岐点 ～ A格納容器循環 冷暖房ユニット行 レジューサ (6×4)						変更なし	1.2	138	168.3	7.1	STPT42
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備			(注3,6)	(注3,6)	(注6)
									168.3	7.1	
									168.3	7.1	STPT42
									168.3	7.1	
									114.3	6.0	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注69) A格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却ライン 入口分岐点 ～ A格納容器循環 冷暖房ユニット行 レジューサ (6×4)						原子炉補機冷却設備					
(注70) レジューサ (10×6) ～ B格納容器循環 冷暖房ユニット行 レジューサ (6×4)	(注2) 0.98	95	(注3) 168.3	(注4) 7.1	STPG42		(注6) 1.2	138	(注3、6) 168.3	7.1	(注6) STPT42

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注7)	(注2)	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPG42	原子炉補機冷却設備	1.2	138	114.3	6.0	変更なし
A格納容器循環 冷暖房ユニット行 レジューサ (6×4) 及び分岐点 ～ レジューサ (4×2)	0.98										
原子炉補機冷却設備						変更なし	(注6)	(注5)	(注3,6)	(注3,6,7)	(注6,7)
							1.2	138	114.3	6.0	STPT42
									5.2	6.0	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
									(差し込み部の内径) 61.1	(注3)	



変更前				変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
原子炉補機冷却設備	(注72)	レジャーサ (4×2) 及び分岐点 ～ A格納容器循環 冷暖房ユニット	-	-		原子炉補機冷却設備	1.2	138	61.1	-	(注6)	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
									(差し込み 部の内径)	(最小) 6.0	(注6)	
									(差し込み 部の内径)	(最小) 6.0	(注3)	
									61.1	-		
									(差し込み 部の内径)	(最小) 6.0		

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>レギュレーサ (4×2) 及び分岐点 ～ B、C格納容器循環 冷却房ユニット (注72)</del>	<del>0.98 (注2)</del>	<del>95 (注3)</del>	<del>73.0 (注3)</del>	<del>5.2 (注3)</del>	<del>STPG42 (注4)</del>	<del>原子炉補機冷却設備</del>	<del>1.2 (注5)</del>	<del>161 (注5)</del>	<del>— (注19)</del>	<del>—</del>	<del>—</del>
A格納容器循環 冷却房ユニット レギュレーサ (4×2) 及び合流点	0.98 (注2)	95	60.3 (注3,17)	3.9 (注3,17)	STPG42 (注17)	原子炉補機冷却設備	1.2 (注5)	161 (注5)	—	—	変更なし
			73.0 (注3)	5.2 (注3)	STPG42						変更なし

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注74)					原子炉補機冷却設備			(注3, 6, 7)	(注6, 7)	(注6, 7)
A格納容器循環 冷却房ユニット レジェーサー (4×2) 及び合流点						変更なし	(注6)	161	(注3, 6)	(注6)	(注6)
							1.2		(差し込み 部の内径)	(最小)	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
										61.1	6.1
									(差し込み 部の内径)	(最小)	(注3)
										61.1	7.3
											(7.3)

変更前				変更後						
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)	径厚(mm)	名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)	径厚(mm)	材料
(注74) A格納容器循環 冷暖房ユニット ～ レジュューサ (4×2) 及び合流点								(注3,6) 5.2 ／ 114.3 ／ 61.1	(注6) 5.2 ／ (最小) 6.0 ／ (注3) (6.0) ／ 6.0	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備										
(注74) B、C格納容器循環 冷暖房ユニット ～ レジュューサ (4×2) 及び合流点	(注2) 0.98	95	(注3) 73.0	(注3) 5.2			— (注19)			
原子炉補機冷却設備										



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注76) レギュレーサ (4×2) ～	(注2) 0.98	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPC42	変更なし	(注5) 1.2	(注5) 161	(注3, 6, 7) 114.3	(注3, 6, 7) 6.0	変更なし
A格納容器循環 冷暖房ユニット 戻り母管合流点	—	—	—	—	(注6, 7) STPT42						
(注78) B、C格納容器循環 冷暖房ユニット レギュレーサ (4×2) ～ レギュレーサ (6×4) 及び合流点	(注2) 0.98	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	STPC42	原子炉補機冷却設備	—	(注19) —	—	—	—
原子炉補機冷却設備	<del>原子炉補機冷却設備</del>										

変更前			変更後			
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称
原子炉補機冷却設備	(注70) 0.98	95	(注3) 168.3	(注3) 7.1	(注3) STPG42	原子炉補機冷却設備
	A格納容器循環 冷暖房ユニット 戻り母管合流点 ～ A、B、C 格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却水戻り合流点					
変更なし						
(注5)						
1.2						
(注6)						
161						
(注3、6、7)						
168.3						
(注3、6、7)						
7.1						
(注6、7)						
STPT42						
(注3、6)						
168.3						
(注3、6)						
7.1						
(注6)						
STPT42						
(注3、6)						
114.3						
6.0						

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注76)											
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
A格納容器循環 冷却房ユニット 戻り母管合流点 ～ A、B、C 格納容器循環 冷却房ユニット 冷却水戻り合流点						変更なし	(注5) 1.2	(注5) 161	168.3 / - / 168.3	(注3,6) 7.1 / - / 7.1	(注6) STPT42   STPT42
									(注3,6) 168.3 / - / 114.3	(注3,6) 7.1 / - / 6.0	(注6) STPT42

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注77) 原子炉補機冷却設備 A、B、C 格納容器循環 冷却房ユニット 冷却水戻り合流点 ～ 格納容器貫通部 PEN#257	(注2) 0.98	95	(注3) 323.9	(注3) 9.5	STPG42	原子炉補機冷却設備 変更なし	(注5) 1.2	161	(注3, 6, 7) 323.9	(注3, 6, 7) 9.5	変更なし STPT42 (注6, 7)

変更前					変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料		
原子炉補機冷却設備	(注77)		(注3)	(注3)	格納容器貫通部 PEN#257 ～ 弁 (3MOV-5160B)	変更なし	(注6)	(注6)	323.9	9.5	変更なし	(注6, 7) STPT42	
		0.98	95	323.9			9.5	1.2					161
原子炉補機冷却設備	(注77)				格納容器循環 冷却房ユニット 冷却水出口配管 分岐点	変更なし	(注5)	(注5)	323.9	9.5	変更なし	(注6, 7)	
		0.98	95	219.1			8.2	1.2					161
				(注3)			(注3)						

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注77)					原子炉補機冷却設備			(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)
									323.9	9.5	STPT42
弁 (3MOV-5160B) ～ 格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却水出口配管 分岐点			—			変更なし	1.2	161	(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)
									323.9	9.5	STPT42
原子炉補機冷却設備						変更なし	1.2	161	(注3)	(注3)	(注3)
									323.9	9.5	STPT370
									165.2	7.1	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注77) 格納容器循環 冷却房ユニット 冷却水出口配管 分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 323.9	(注3) 9.5	STPG42	変更なし	(注5) 0.98	(注5) 161		変更なし	
原子炉補機冷却設備 格納容器循環 冷却房ユニット 戻り母管合流点						原子炉補機冷却設備			(注3, 6, 7) 323.9	(注3, 6, 7) 9.5	(注6, 7) STPT42
(注78) A充てん/高圧 注入ポンプ室 冷却房ユニット 冷却ライン分岐点 B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	STPG42						

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
(注78)	(注2)	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	STPG42		変更なし					
原子炉補機冷却設備 B充てん/高圧 注入ポンプ室 冷暖房ユニット 冷却ライン分岐点 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点	0.98	95	88.9	5.5	STPG42	原子炉補機冷却設備 変更なし	1.2	95	88.9	5.5	(注6,7) STPT42	
							(注3,6) 114.3	(注3,6) 6.0	(注3,6) 88.9	(注3,6) 5.5	(注6) STPT42	



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
<sup>(注19)</sup> A充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 ～ A充てん/高圧 注入ポンプ入口	<sup>(注2)</sup> 0.98	95	<sup>(注3)</sup> 48.3	<sup>(注3)</sup> 3.7	STPG42		変更なし	変更なし			
原子炉補機冷却設備											
<sup>(注70)</sup> B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ入口	<sup>(注2)</sup> 0.98	95	<sup>(注3)</sup> 48.3	<sup>(注3)</sup> 3.7	STPG42	変更なし	1.2	95	<sup>(注5)</sup> 48.7	<sup>(注6,7)</sup> 5.5	<sup>(注6,7)</sup> ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注79)					原子炉補機冷却設備			(注3,6)	(注6)	(注6)
B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ入口						変更なし	(注5) 1.2	(注3) 95	(差し込み 部の内径) 48.7	(最小) 5.5	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
									(差し込み 部の内径) 48.7	(5.5)	(注3)



変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>原子炉補機冷却設備</del>											
<del>(注80) 1次系冷却水 供給母管分岐点 ～ 冷水供給ライン 合流点 (A→B側)</del>	<del>(注2) 0.98</del>	<del>95</del>	<del>(注3) 88.9</del>	<del>5.5</del>	<del>STPG42</del>			<del>変更なし</del>			
<del>(注80) 1次系冷却水 供給母管分岐点 ～ 冷水供給ライン 合流点 (B→A側)</del>	<del>(注2) 0.98</del>	<del>95</del>	<del>(注3) 88.9</del>	<del>5.5</del>	<del>STPG42</del>		<del>変更なし (注6) 1.2</del>	<del>95</del>	<del>(注3,6,7) 88.9</del>	<del>(注3,6,7) 5.5</del>	<del>(注6,7) STPT42</del>

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注1)					原子炉補機冷却設備	変更なし				
	B充てん/高圧注入ポンプ出口	(注2)	95	(注3) 48.3	(注3) 3.7		STPG42	1.2	(注6)		
B充てん/高圧注入ポンプ出口合流点						原子炉補機冷却設備	変更なし				
	B充てん/高圧注入ポンプ出口合流点						変更なし	(注6)	95	(注3, 6, 7) (差し込み部の内径) 48.7	(注6, 7) (最小) 5.5

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注81)					原子炉補機冷却設備					
B充てん/高圧 注入ポンプ出口 ～ B充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点						変更なし	(注6) 1.2	(注6) 95	(注3、6) 48.7 / (差し込み部の内径)	(注6) 5.5 / (最小)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	厚さ (mm)	材料	
原子炉補機冷却設備	(注81)						
B充てん/高圧 注入ポンプ出口					4.8 / (最小)	(注6) ASTM A105	
B充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点	1.2	95	88.9 / (差し込み 部の内径)	5.5 / 48.7	(注3) (5.5 / 5.5)	Gr II (S25C 相当)	
原子炉補機冷却設備	変更なし						

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注2) 0.98	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	STPG42	変更なし	変更なし	95	88.9	5.5	STPT42
	(注2) 1.2						変更なし				
B充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点						原子炉補機冷却設備	1.2	95	48.6	3.7	(注6) STPT42
B充てん/高圧 注入ポンプ 出口ライン分岐点											



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注83) 冷水供給ライン 合流点 (Bヘッダ側) ～ B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 (油冷却器側)	(注2) 0.98	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	STPG42	変更なし	変更なし (注5) 1.2	変更なし (注5) 95	(注3,6,7) 88.9	(注3,6,7) 5.5	(注6,7) STPT42
原子炉補機冷却設備											
(注83) 冷水供給ライン 合流点 (Bヘッダ側) ～ Bヘッダ供給側 レジューサ (注83)	(注2) 0.98	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	STPG42	変更なし	変更なし (注5) 1.2	変更なし (注5) 95	(注3,6,7) 88.9	(注3,6,7) 5.5	(注6) STPT42

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	径厚 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
原子炉補機冷却設備	(注2) 0.98	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	変更なし	変更なし (注6) 1.2	95
	(注3) B充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点 (油冷却器側) B充てん/高圧 注入ポンプ 油冷却器 出口ライン分岐点			STPG42			
原子炉補機冷却設備				原子炉補機冷却設備			
材料				材料			
径厚 (mm)				径厚 (mm)			
外径 (mm)				外径 (mm)			
最高使用温度 (°C)				最高使用温度 (°C)			
最高使用圧 (MPa)				最高使用圧 (MPa)			

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径厚 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	口径厚 (mm)	口径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注83) B充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点 (油冷却器側)		-			(注5) 1.2	95	88.9	5.5	-	STPT410
原子炉補機冷却設備	B充てん/高圧 注入ポンプ 油冷却器 出口ライン分岐点		-			1.2	95	88.9	5.5	-	(注6) STPT42

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注17) ラプチャディスク への分岐点 ～ ラプチャディスク	0.7	40	(注3) 609.6	(注3) 12.0	SS41	変更なし	0.7	40	(注3, 6, 7) 609.6	(注3, 6, 7) 12.0	SS41
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
(注17) A、Bディーゼル 発電機 潤滑油冷却器 ～ 潤滑油冷却器	0.7	40	(注3) 139.8	(注3) 6.6	STPC40	変更なし	変更なし				

変更前				変更後				
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料	
原子炉補機冷却設備		A1、A2 海水ストレーナ 海水供給接続口 ～ A1、A2 海水ストレーナ	—    1.2    40	—    —    —	267.4	9.3	STPT370	—
					(注3)	(注3)		
—		—	—	—	267.4	9.3	STPT370	—
					(注3)	(注3)		
—		—	—	—	267.4	9.3	STPT370	—
					(注3)	(注3)		

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
<del>(注17) A充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 (油冷却器側) ~ A充てん/高圧 注入ポンプ入口 (油冷却器側)</del>	<del>0.98</del>	<del>95</del>	<del>60.3 (注3)</del>	<del>3.9 (注3)</del>	<del>STPG42</del>	<del>原子炉補機冷却設備</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>	<del>変更なし</del>
(注17) B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 (油冷却器側) ~ B充てん/高圧 注入ポンプ入口 (油冷却器側)	0.98	95	60.3 (注3)	3.9 (注3)	STPG42	原子炉補機冷却設備	変更なし (注5) 1.2	95 (注5)	(注3, 6, 7) 変更なし (差し込み部の内径) 61.1	(注6, 7) 変更なし (最小) 6.0 (注3)	(注6, 7) ASTM A105 Gr II (S25C相当)

変更前				変更後			
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)
原子炉補機冷却設備	(注17)				(注6)		
B充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 (油冷却器側) ～ B充てん/高圧 注入ポンプ入口 (油冷却器側)					73.0 / (注3) (差し込み部の内径) 61.1	4.5 / (注6) (最小) 6.0 (5.2 / (注3) 6.0)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備					(注3、6)	1.2 (注6)	95 (注6)
					88.9 / (注3、6) (差し込み部の内径) 61.1	4.8 / (注6) (最小) 6.0 (5.5 / (注3、6) 6.0)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
						変更なし	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
<sup>(注17)</sup> A充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)											
～	0.98	95	<sup>(注3)</sup> 60.3	3.9	STPG42			変更なし			
A充てん/高圧 注入ポンプ出口 合流点 (油冷却器側)											
原子炉補機冷却設備											
<sup>(注17)</sup> B充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)											
～	0.98	95	<sup>(注3)</sup> 60.3	3.9	STPG42		変更なし <sup>(注5)</sup> 1.2			変更なし	
B充てん/高圧 注入ポンプ出口 合流点 (油冷却器側)											



変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注17) B充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側) ～ B充てん/高圧 注入ポンプ出口 合流点 (油冷却器側)					変更なし	(注5) 1.2	(注5) 95	(注3, 6, 7) (差し込み 部の内径) 61.1	(注5, 7) (最小) 6.0	(注6, 7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
									(注3, 6) 73.0 /	(注6) 4.5 /	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備						(差し込み 部の内径) 61.1	(注3, 6) 5.2 /	(注3) 6.0	(注3) 61.1	(注3) 6.0	(注3) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注17) B充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側) ～ B充てん/高圧 注入ポンプ出口 合流点 (油冷却器側)			—			変更なし	(注6) 1.2	(注5) 95	(注3,6) 88.9 — (差し込み 部の内径) 61.1	(注6) 4.8 — (最小) 6.0 (注3) (5.5 — 6.0)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備											
(注17) C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側) ～ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)	0.98	95	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPG42	変更なし	変更なし		(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPT370
原子炉補機冷却設備											

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料
原子炉補機冷却設備															
	大容量ポンプ		(注5) 40						大容量ポンプ	(注5)	(注5) 40	(注3)			
	海水供給接続口							海水供給接続口					(注3,84) 8.2		
	~							~							
	B内部スプレー							B内部スプレー	1.2		(注5) 95	216.3			
	クレーラ							クレーラ							
	入口配管合流点							入口配管合流点							STPT370

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	-	-				窒素マニホールド	0.98	95	27.2	2.9	STPT38
						(1次系冷却水タンク加圧用)					
						既設置素供給ラインとの合流点					
						～					
						オリフィス					
						フランジ					
									27.2	2.9	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	-	-				オリフィス	(注5) 0.34	(注3) 95	(注3,6) 27.2	(注3,6) 2.9	(注6) STP138
						フランジ			(注3,6) 88.9	(注3,6) 5.5	(注6) STPG42
						～ 1次系冷却水 タンク			(注3,6,7) (差し込み 部の内径) 27.7	(注6,7) (最小) 4.3	(注6,7) S25C
							(注3,6) (差し込み 部の内径) 27.7	(注6) (最小) 5.3	(注6) S25C		

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
原子炉補機冷却設備															
格納容器循環 冷却房ユニット 冷却水出口配管 分岐点 ～ 屋外放出口															
										(注5)	(注5)	(注3)	(注3,84)		
										0	161	165.2	7.1	STPT370	
												(注3)	(注3)		
												(注3)	(注3)	SUS304TP	
												(注3)	(注3)		
										1.2	161	165.2	7.1	STPT370	
												(注3)	(注3)		
												(注3)	(注3)	SUS304TP	

変更前				変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						95	(注5)	(注3)	STPT370
							0.7	48.6	
						95	(注6)	(注3, 84)	
						95	1.2	48.6	3.7
									STPT370

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						B充てん/ 高圧注入ポンプ 出口ライン分岐点 及び	0	95	48.6	3.7	STPT370
						B充てん/ 高圧注入ポンプ 油冷却器 出口ライン分岐点 ～			60.5	3.9	STPT370
						B充てん/ 高圧注入ポンプ 海水排出ライン 接続用座 (上流側) 及び	1.2	95	48.6	3.7	STPT370
						B充てん/ 高圧注入ポンプ 油冷却器海水 排出ライン 接続用座 (上流側)			60.5	3.9	STPT370



変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						B充てん/ 高圧注入ポンプ 海水排出ライン 接続用座 (下流側) 及び			60.5 (注3)	3.9 (注3)	STPT370
						B充てん/ 高圧注入ポンプ 油冷却器海水 排出ライン 接続用座 (下流側) ～ 屋外放出口	0 (注6)	95 (注5)	114.3 (注3)	6.0 (注3, 84)	STPT370
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	STPT410
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	
									60.5	3.9	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						B充てん／ 高圧注入ポンプ	0	95	60.5	3.9	STPT410
						海水排出ライン 接続用座			／	／	
						(下流側) 及び			／	／	
						B充てん／ 高圧注入ポンプ			48.6	3.7	
						油冷却器海水 排出ライン			114.3	6.0	
						接続用座 (下流側)			／	／	
						～			／	／	
						屋外放出口			60.5	3.9	

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材		
原子炉補機冷却設備							B1次系冷却水								
							クローラ入口 配管分岐点 (海水側)								
							～								
							弁 (3V-5122B) 前合流点								
							(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3,84)	(注3)	(注3)	
							216.3	40	216.3	8.2	216.3	8.2	216.3	8.2	STPT370
							—	—	—	—	—	—	—	—	—
							(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)
							95	95	216.3	8.2	216.3	8.2	216.3	8.2	STPT370

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						B余熱除去ポンプ 海水排出ライン 接続用座 (下流側) ～	(注5)	(注5)	(注3)	(注3)	STPT370
						A海水戻り母管 合流点	0.7	40	48.6	3.7	
						1次系冷却水 タンク加圧用 窒素供給用 マニホールド 接続用座 (下流側) ～	(注5)	(注5)	(注3)	(注3,54)	STPT370
						窒素マニホールド (1次系冷却水 タンク加圧用) 既設窒素供給 ラインとの合流点	0.98	95	27.2	2.9	

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料
原子炉補機冷却設備		B燃料ピット クローラ冷却水 入口配管分岐点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ入口配管 分岐点	(注6) 1.2	(注5) 95	(注3)	(注3, 84)	STPT370
					34.0	3.4	
				(注3)	4.2	S25C	
				34.0	(注3) (4.5)		
				(注3)	3.4		
				34.0	3.4	STPT370	
				34.0	3.4		
				34.0	3.4		

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
B燃料ピット クレーラ冷却水 入口配管分岐点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ入口配管 分岐点	(注6) 1.2	(注6) 95	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注6) 0.33	(注6) 40	(注3) 34.0	(注3, 84) 3.4	STPT370
可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ入口配管 分岐点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ入口 接続口	(注6) 0.33	(注6) 40	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注6) 0.33	(注6) 40	(注3) 34.0	(注3, 84) 3.4	STPT370

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ出口 接続口 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ出口配管 合流点	(注6) 0.33	(注5) 40	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注3) 34.0	(注3) 3.4	STPT370
	(注6) 1.2	(注5) 95	(注3) 34.0 / 34.0 / 34.0	(注3) 3.4 / 3.4 / 3.4	(注3) 34.0 / 34.0 / 34.0	(注3) 3.4 / 3.4 / 3.4	STPT370
原子炉補機冷却設備							
可搬型原子炉 補機冷却水循環 ポンプ出口配管 合流点 ～ 格納容器 雰囲気ガス サンプリング 冷却器	(注6) 1.2	(注5) 95	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注3) 34.0	(注3, 84) 3.4	STPT370
	(注6) 1.2	(注5) 95	(注3) 34.0	(注3) 3.4	(注3) 34.0	(注3, 84) 3.4	STPT370

変更前					変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
					可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ入口配管	(注5)	(注6)	(注3)		
					分岐点	1.2	95	34.0	3.4	STPT370
					可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ出口配管	(注5)	(注6)	(注3)		
					合流点	0.33	40	34.0	3.4	STPT370
原子炉補機冷却設備										
					格納容器	(注5)	(注6)	(注3)	(注3, 8)	
					雰囲気ガス	0.33	40	34.0	3.4	STPT370
					サンプリング冷却器	(注5)	(注6)	(注3)	4.2	
					B燃料ピットクローラ戻り配管	0.33	40	34.0	3.4	S25C
					合流点				(4.5)	





変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
原子炉補機冷却設備													
	格納容器	(注6)	(注5)	(注3)									
	雰囲気ガス												
	サンプリング	0	95	34.0	3.4								
	冷却器												
	出口配管分岐点												
	～												
	格納容器	(注6)	(注5)	(注3)									
	雰囲気ガス												
	サンプリング	1.2	95	34.0	3.4								
	冷却水屋外排水用												
	ホース接続口												

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						弁 (3V-8485C) 出口分岐点			48.6	3.7	STPT370
						~ C充てん/ 高圧注入ポンプ			48.6	3.7	SUS304TP
						冷却水入口配管 合流点 及び	0.98	95	60.5	3.9	STPT370
						C充てん/ 高圧注入ポンプ			60.5	3.9	SUS304TP
						冷却水入口配管 合流点 (油冷却器側)			89.1	5.5	SUS304TP
原子炉補機冷却設備											

変更前					変更後								
名称	最高圧 (MPa)	最高温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高圧 (MPa)	最高温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料		
原子炉補機冷却設備						弁 (3V-8485C)			(注3)	(注3)	SUS304TP		
						出口分岐点			89.1	5.5			
						〃			/	/			
						C充てんノ			48.6	3.7			
						高圧注入ポンプ			(注3)	(注3)		SUS304TP	
						冷却水入口配管			89.1	5.5			
						合流点			/	/			
						及び			89.1	5.5			
						C充てんノ			/	/			
						高圧注入ポンプ			60.5	3.9			
						冷却水入口配管			(注3)	(注3)			STPT370
						合流点			48.6	3.7			
(油冷却器側)	/	/											
	-	-											
	/	/											
	48.6	3.7											

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						弁 (3V-8485C) 出口分岐点	(注5) 0.98	(注5) 95	60.5 / -	3.9 / -	(注9) STPT370
						~ C充てん/ 高圧注入ポンプ 冷却水入口配管			89.1 / -	(注3,84) 11.1 / -	SUS304TP
						合流点 及び C充てん/ 高圧注入ポンプ 冷却水入口配管	(注5) 18.8	(注5) 150	89.1 / -	11.1 / -	(注3) SUS304TP
						合流点 (油冷却器側)			89.1 / -	11.1 / -	(注3) SUS304TP
原子炉補機冷却設備											

変更前					変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料		
原子炉補機冷却設備						C充てん/ 高压注入ポンプ 出口配管分岐点 及び C充てん/ 高压注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側) ～ 弁 (3MOV-8706B) 後合流点	(注5)	95	(注3)	(注3)	(注3)	STPT370	
									48.6	3.7	48.6		3.7
									(注3)	(注3)	(注3)	(注3,84)	STPT370
									60.5	3.9	60.5	3.9	
									(注3)	(注3)	(注3)	(注3,84)	SUS304TP
89.1	5.5	89.1	5.5	SUS304TP									



変更前					変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						C充てん/ 高压注入ポンプ 出口配管分岐点 及び C充てん/ 高压注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側) ～ 弁 (3MOV-8706B) 後合流点	(注5) 0.98	(注5) 95	(注3) 60.5	(注3) 3.9	(注3) —	STPT370
					原子炉補機冷却設備				(注3) 89.1	(注3, 54) 5.5	SUS304TP	
							(注5) 1.4	(注5) 150	(注3) 89.1	(注3) 5.5	(注3) —	SUS304TP
									(注3) 89.1	(注3) 5.5	(注3) —	SUS304TP



- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプ～中間建屋入口」と記載
- (注2) SI単位に換算したものである。
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー中間建屋入口～30B管と36B管との分岐点」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「直管JWWA G105 異形管JWWA G106」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー30B管と36B管との分岐点～弁 (3-6509B) 」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー30B管と36B管との分岐点～B1次系冷却水クーララ入口分岐点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～A、B1次系冷却水クーラ」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「C1次系冷却水クーラ入口分岐点～レジュューサ (30×24) 」及び「レジュューサ (30×24) ～C1次系冷却水クーラ」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C1次系冷却水クーラ～海水母管合流点」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B1次系冷却水クーラ出口合流点～A、Bヘッダーフランジ (30×28) 」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～レジュューサ (10×8) 」と記載
- (注17) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電装置入口連絡管」と記載
- (注19) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (10×8) ～ディーゼル発電装置」と記載
- (注21) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電装置～レジュューサ (12×8) 」と記載

- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (12×8) ～チラユニット出口合流点」及び「合流点～海水母管合流点」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C1次系冷却クローラ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却クローラ出口連絡管」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダ：テイ (20×20×16) ～レジュューサ (20×14)」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (20×14) ～内部スプレクローラ」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Cヘッダ：テイ (16×16×16) ～レジュューサ (16×12)」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (16×12) ～レジュューサ (12×10)」と記載
- (注30) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Cヘッダ：レジュューサ (16×12) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダ：内部スプレクローラ～レジュューサ (20×14)」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダ：レジュューサ (20×14) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「テイ (20×20×16) ～A、B、C、D1次系冷却水ポンプ」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジュューサ (16×12) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、D1次系冷却水ポンプ出口ロテイ (20×20×16) ～A、C1次系冷却クローラ入口ロテイ (20×20×16)」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却クローラ入口連絡管」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「テイ (20×20×16) ～A、B、C1次系冷却クローラ」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～A、B余熱除去クローラ (RH-2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B余熱除去クローラ (RH-2) ～戻母管合流点」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～A、B、C冷却材ポンプへの分岐点」と記載

- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C冷却材ポンプからの合流点～弁(3-FCV-1241)」と記載
- (注45) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上の厚さのものを選定する。  
なお、記載内容は、設計図書による。
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C冷却材ポンプからの合流点～レジューサ(8×6)」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口分岐点～弁(3-5I05A、B)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-5I05A、B)～1次系冷却水タンク」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B1次系機器冷却水母管分岐点～燃料ピットクローラ」と記載
- (注50) STPT38同等材(STPT370)への取替えを行う。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクローラ～A、B1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却水母管分岐点～余剰抽出水クローラ」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クローラ～1次系機器冷却水戻り母管」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～IA-1A、IA-1B計器用空気圧縮機パッケージ入口レジューサ(2×1 1/2)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「IA-1A、IA-1B計器用空気圧縮機パッケージ出口レジューサ(2×1 1/2)～1次系機器戻母管」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ(3×2)」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ(3×2)～1次系機器冷却水戻り母管合流点およびレジューサ(3×2)」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ(4×2)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ(4×2)～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ(2×1 1/2)」と記載

- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レギュレーサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レギュレーサ (1×1/2)」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レギュレーサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却戻ライン合流点」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (2×1 1/2) ～レギュレーサ (3×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レギュレーサ (12×10)」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (12×10) ～レギュレーサ (10×6)」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レギュレーサ (6×4)」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (10×6) ～レギュレーサ (6×4)」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×4) および分岐点～レギュレーサ (4×2)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注73) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器循環空調装置～レギュレーサ (4×2) および合流点」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (4×2) ～レギュレーサ (6×4) および合流点」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×4) ～合流点」及び「VS-39A戻り管～合流点」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (12×10) ～1次系機器冷却水戻り管合流点」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～ポンプ入口」と記載
- (注80) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷水ラインとの連絡管」と記載
- (注81) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ～出口合流点」と記載

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置戻ライン合流点」と記載

(注83) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (4×3) ～レジュューサ (4×3) 」と記載

(注84) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

・可搬型

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	長さ (mm)	材料	取付箇所	
原子炉補機冷却設備	(注1) 0.98	(注1) 50	(注9) 22.0	(注9) 5.0	(注9) 5.0	C1220T	保管場所 (注10) ; [Redacted]	
	(注1) 17.16	(注1) 50	(注9) 8.0	(注9) 2.0	(注9) 2.0	C1220T	取付箇所 ; [Redacted]	
			(注9) 22.0	(注9) 5.0	(注9) 5.0	C1220T		

変更後						
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
—	原子炉補機冷却設備 1次系冷却水タンク 窒素供給用 φフレキシブル ホース	0.98 <small>(注1)</small>	50 <small>(注1)</small>	20A <small>(注2)</small>	— <small>(注3)</small>	SUS316L
						保管場所 <small>(注6)</small> ; 取付箇所 ;

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 格納容器雰囲気ガス サンプリング冷却水 屋外排水用 m フレキシブルホース	0	60	32A		SUS304	保管場所 (注1)； 取付箇所： 取付箇所：

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース 本 (必要本数に予備 本 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用) を加えた数量) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ( )

(注6) 当該ホース 本 (必要本数 本に予備各 本を加えた数量) 以上を保管する。



- (注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ( )
- (注8) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本を加えた数量) 以上を保管する。
- (注9) 公称値
- (注10) 当該マニホールト■台 (必要台数に予備■台を加えた数量) 以上を保管する。
- (注11) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本を加えた数量) 以上を保管する。

蒸気タービンに係るものについては、次の事項  
2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(4) 管等に係る次の事項

イ 主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	(注4)	(注4)	(注4)	蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	267.4	9.3	STPT38
			(注5)	(注4)	(注7)						
			(注4)	(注4)	(注7)						
			(注4,7)	(注4,7)	(注7)						
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)	蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)
			(注9)	(注9)	(注10,11)						
			(注4,11)	(注4,11)	(注11)						
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)	蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	0	40	(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)
			(注9)	(注9)	(注11)						

変更前				変更後			
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	長さ (mm)	材料	
蒸気タービンの附属設備	弁 (3CW-054)	0	267.4	9.3	9.3	STPT370	(注6)
蒸気タービンの附属設備	弁 (3CW-054)	40	267.4	9.3	9.3	STPT370	(注8)
蒸気タービンの附属設備	復水タンク 海水補給水 ライン合流点	1.6	267.4	9.3	9.3	STPT370	(注9)
蒸気タービンの附属設備	復水タンク 海水補給水 ライン合流点	1.6	267.4	9.3	9.3	STPT370	(注9)
蒸気タービンの附属設備	復水タンク 海水補給水 ライン合流点	1.6	267.4	9.3	9.3	STPT370	(注9)

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
蒸気タービンの附属設備	0 (注6)	40	165.2	7.1	STPT38	変更なし	変更なし (注9)	40	267.4	9.3	STPT38	変更なし
			267.4	9.3	STPT38				267.4	9.3	STPT38	
			267.4	9.3	STPT370				267.4	9.3	STPT38	
			267.4	9.3	STPT370				267.4	9.3	STPT38	
復水タンク 海水補給水 ライン合流点 ～ タービン動 補助給水ポンプ							1.6					
蒸気タービンの附属設備												



変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
蒸気タービンの附属設備	0	40	(注4,7) 114.3	(注4,7) 6.0	(注7) SUS304TP	変更なし	0	40	(注4,10,11) 165.2	(注4,10,11) 7.1	(注10,11) STPT38
			(注4) 165.2	(注4) 7.1	STPT38				(注4,10,11) 165.2	(注4,10,11) 7.1	SUS304TP
			(注4,7) 165.2	(注4,7) 7.1	(注7) SUS304TP				(注4,10,11) 267.4	(注4,10) 9.3	STPT38
			(注4) 267.4	(注4) 9.3	STPT38				(注4,10) 165.2	(注4,10) 7.1	SUS304TP
電動補助給水ポンプ入口配管分岐点											
電動補助給水ポンプ											
蒸気タービンの附属設備											

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注5) 蒸気タービンの附属設備 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ~ 電動補助 給水ポンプ			-			蒸気タービンの附属設備 変更なし	0	(注9) 40	(注4,10) 267.4 / 267.4 / 165.2	(注4,10) 9.3 / 9.3 / 7.1	(注10) STPT38

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
(注13)	12.3 (注3)	40	(注4,7)	(注4,7)	(注7)	変更なし	変更なし (注9)	40	(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)	変更なし
			88.9	11.1	STPT42				88.9	11.1	STPT42	
			(注4,7)	(注4,7)	(注7)				(注4,10,11)	(注4,10,11)	(注10,11)	
タービン動補助 給水ポンプ ～ 弁 (3FW-556A、B、C)	12.3 (注3)	40	(注4,7)	(注4,7)	(注7)	変更なし	13.2 (注9)	40	(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	変更なし
			89.1	11.1	STPT38				168.3	14.3	STPT42	
			(注4)	(注4)	(注4)				(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	
蒸気タービンの附属設備	12.3 (注3)	40	(注4,7)	(注4,7)	(注7)	変更なし	13.2 (注9)	40	(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	変更なし
			168.3	14.3	STPT42				168.3	14.3	STPT42	
			(注4)	(注4)	(注4)				(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	
蒸気タービンの附属設備	12.3 (注3)	40	(注4,7)	(注4,7)	(注7)	変更なし	13.2 (注9)	40	(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	変更なし
			89.1	11.1	STPT38				168.3	14.3	STPT42	
			(注4)	(注4)	(注4)				(注4,10)	(注4,10)	(注4,10)	





変更前				変更後			
名	称	最高使用 力温 (MPa)	最高使用 度外 (mm)	径厚 (mm)	厚 (mm)	さ材	料
蒸気タービンの附属設備  弁 (3AS-011A、B) ～ タービン動補助 給水ポンプ タービン入口	変更なし	(注9) 8.0	(注9)	(注4) 165.2 / 165.2 / 165.2 (注4,10)	(注4) 11.0 / 11.0 / 11.0 (注4,10)	STPT370	(注10) STPT38

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
蒸気タービンの附属設備	15.7	40	88.9	11.1	STPT42	変更なし	15.7	40	88.9	11.1	STPT42
			114.3	11.1	STPT42				114.3	11.1	STPT42
電動補助給水ポンプ (3FW-550A、B、C)	15.7	40	88.9	11.1	STPT42	変更なし	15.7	40	88.9	11.1	STPT42
			114.3	11.1	STPT42				114.3	11.1	STPT42
蒸気タービンの附属設備						変更なし					

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
蒸気タービンの附属設備	(注7)					蒸気タービンの附属設備			(注4,10)	(注4,10)	
電動補助給水ポンプ ～ 弁 (3FW-550A、B、C)			—			変更なし	(注9) 15.7	(注9) 40	114.3	11.1	(注10) STPT42
									(注4)	(注4)	
									88.9	11.1	
									88.9	11.1	STPT410
									—	—	—

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注7) 蒸気タービンの附属設備 弁 (3FW-550A、B、C 及び 3FW-556A、B、C) 〜 弁 (3FW-562A、B、C)	8.6	40	(注4) 88.9	(注4) 11.1	STPT42	変更なし	8.6	40	(注4,10,11) 88.9	(注4,10,11) 11.1	(注10,11) STPT42
			(注4) 114.3	(注4) 11.1	STPT42				(注4,10,11) 114.3	(注4,10,11) 11.1	(注10,11) STPT42
			(注4,16) 114.3	(注4,16) 11.1	(注16) STPT410				(注4,10) 114.3	(注4,10) 11.1	(注10) STPT410
蒸気タービンの附属設備						変更なし					
蒸気タービンの附属設備						変更なし					

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御弁後弁〜弁 (3-FW-520A、B、C)」と記載

- (注2) 本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。
- (注3) SI単位に換算したものである。
- (注4) 公称値
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水タンク～補助給水ポンプ」と記載
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「3kg/cm<sup>2</sup>G」と記載
- (注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注8) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注9) 重大事故等時における使用時の値
- (注10) 本設備は既存の設備である。
- (注11) エルボを示す。
- (注12) STPT38同等材（STPT370）への取替えを行う。
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン動補助給水ポンプ～分岐点」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（32×30）～主蒸気集水管」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「蒸気発生器出口管台～補助給水ポンプタービン入口」と記載
- (注16) STPT42同等材（STPT410）への取替えを行う。

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99  
成績書管理番号：1-19

令和2年11月  
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-19

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月25日  
至 令和2年11月26日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月25日	良	柳 健 [Redacted]	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年 9 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年 9月 25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年9月25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御方式及び制御方法 発電用原子炉の制御方式 発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能 一式 発電用原子炉の制御方法 制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能 一式 工学的安全施設等の作動信号 常設（原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号） 補助給水ポンプ起動 蒸気発生器水位異常低 一式 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 警報検査 ロジック回路動作検査 設定値確認検査 作動回路設定値確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0702 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年9月25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
・原子炉トリップ失敗時に 原子炉を安全に停止する ための設備の制御方式 ・原子炉トリップ失敗時に 原子炉を安全に停止する ための設備の制御方法 ・蒸気発生器水位異常低	ロジック回路 動作検査※1	-	良	目視
	警報検査	-	良	
	作動回路設定 値確認検査※2	8.9% <sup>*3</sup> (31.820kPa)	良	
備考 ※1：ロジック組合せA-B ※2：A蒸気発生器水位異常低 ※3：模擬入力値 (kPa) を工学値 (%) に変換する。				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年9月25日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
設定値確認 検査	デジタル マノメータ				2019.3.12 2021.3.11	

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

1. 制御方式及び制御方法
  - (1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

変 更 前	変 更 後
<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式<sup>(注1)</sup></p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式<sup>(注2)</sup></p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレイでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式<sup>(注3)</sup></p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p>

発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の制御方式

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49資序第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。



(2) 発電用原子炉の制御方法

制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(4/4)

変更前	変更後
<p>発電用原子炉の制御方法</p>	<p>e 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、"2 out of 3"方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持できるように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整水を注入する。</p>
<p>発電用原子炉の制御方法</p>	<p>(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。</p> <p>(注2) 記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49査庁第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。</p> <p>(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載</p> <p>(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。</p> <p>(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。</p>

8 工学的安全施設等の作動信号の種類、検出器の種類、個数及び取付箇所、工学的安全施設等の作動に要する信号の個数及び設定値並びに工学的安全施設等の作動信号を発信させない条件  
 ・常設(原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号)

変更前				変更後						
工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件			工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件					
	検出器の種類	取付箇所	工学的安全施設等の作動に要する信号の個数		取付箇所	工学的安全施設等の作動に要する信号の個数	設定値			
工学的安全施設等の作動信号の種類	(注1) A蒸気発生器 水位 検出器	系(ライン名) 設置 末 の 番号 の 高さ の 高さ の 高さ	1	工学的安全施設等の作動信号の種類 補助給水ポンプ起動	A蒸気発生器	2	計器スパンの 7%以上 かつ 11%以下			
								(注1) B蒸気発生器 水位 検出器	系(ライン名) 設置 末 の 番号 の 高さ の 高さ	B蒸気発生器
工学的安全施設等の作動信号の種類 タービントリップ 主蒸気隔離				工学的安全施設等の作動信号の種類 タービントリップ 主蒸気隔離						

(注1) 本設備は既存の原子炉非常停止信号の検出器であり、工学的安全施設等の作動信号として本工事計画で兼用とする。

(注2) 補助給水ポンプ起動と同じ。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官 <del>印</del>	検査立会責任者 <del>印</del>	特記事項
<p>令和2年 11月11日</p>	<p>良</p>	<p>山形英男 柳健</p>	<p>齋藤原三郎 主任技術者 [Redacted] ボラータービル主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年11月11日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年 11月 11日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第 3 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1 - 1 9

検査年月日：令和 2 年 11 月 11 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
<p>計測制御系統施設                      制御方式及び制御方法                      発電用原子炉の制御方式                      発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能 一式                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための 1 次冷却材のほう素濃度の調整 一式                      発電用原子炉の制御方法                      制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能 一式                      原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための 1 次冷却材のほう素濃度の調整 一式                      工学的安全施設等の作動信号                      常設（原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号）                      タービントリップ 主蒸気隔離                      蒸気発生器水位異常低 一式                      別添 1 参照</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査  ロジック回路動作検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  記録確認
系統機能検査  ほう酸水注入機能確認検査		良	目視  記録確認
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3 - 3 - 0702</li> <li>・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照</li> </ul>			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年11月11日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</li> <li>・原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</li> <li>・蒸気発生器水位異常低</li> </ul>	ロジック回路動作検査※1	—	良	目視
	ほう酸水注人機能確認検査※2	別添2参照	良	
備考 ※1：ロジック組合せB-C ※2：A系				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年11月11日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
ロジック回路動作検査	デジタルマルチメータ				2020.9.2 2021.9.1	
ほう酸水注入機能確認検査	流量計				2020.10.9 次回定期事業者検査まで	



計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

1 制御方式及び制御方法

(1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

変更前	変更後
<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式 <sup>(注1)</sup></p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式 <sup>(注2)</sup></p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレイでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式 <sup>(注3)</sup></p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式</p> <p>(変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p>
<p>発電用原子炉の制御方式</p>	<p>発電用原子炉の制御方式</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49濃庁第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。

(2) 発電用原子炉の制御方法  
制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(4/4)

変更前		変更後	
発電用原子炉の制御方法		<p>e 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、"2 out of 3"方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持するように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整水を注入する。</p>	<p>発電用原子炉の制御方法</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49資行第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。

8 工学的安全施設等の作動信号の種類、検出器の種類、個数及び取付箇所、工学的安全施設等の作動に要する信号の個数及び設定値並びに工学的安全施設等の作動信号を発生させない条件  
 ・常設（原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号）

変更前				変更後										
工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件			工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件									
	個数	取付箇所	設定値		個数	取付箇所	設定値							
工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の作動信号の種類	個数	取付箇所	設定値							
								A蒸気発生器水位(狭域)検出器	1	床の保護上の区画の保護上の必要高さ	A蒸気発生器	1	床の保護上の区画の保護上の必要高さ	A蒸気発生器
C蒸気発生器水位(狭域)検出器	1	床の保護上の区画の保護上の必要高さ	C蒸気発生器	2	床の保護上の区画の保護上の必要高さ	C蒸気発生器								
							工学的安全施設等の作動信号の種類	補給給水ポンプ起動	工学的安全施設等の作動信号の種類	蒸気発生器水位異常低	工学的安全施設等の作動信号の種類	タイレントリップ 主蒸気隔離	工学的安全施設等の作動信号の種類	計器スパンの7%以上かつ11%以下

(注1) 本設備は既存の原子炉非常停止信号の検出器であり、工学的安全施設等の作動信号として本工事計画で兼用とする。

(注2) 補給給水ポンプ起動と同じ。

## ほう酸水注入機能確認検査記録

判定基準	緊急ほう酸注入流量が [REDACTED] であること	
運転ポンプ	使用タンク	測定値(m³/h)
Aほう酸ポンプ	Aほう酸タンク	[REDACTED]
Cほう酸ポンプ		[REDACTED]
備考		

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月26日	良	荒谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和2年11月26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 2 年 11 月 26 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 2 年 11 月 26 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御方式及び制御方法 ・発電用原子炉の制御方式 発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整一式 ・発電用原子炉の制御方法 制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整一式 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ほう酸水注入機能確認検査※2	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※1）による。 ※1 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0001 ※2 B系 ・目視で確認した範囲：			



計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。)にあつては、次の事項

- 1 制御方式及び制御方法
  - (1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

変 更 前	変 更 後
<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式<sup>(注1)</sup></p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式<sup>(注2)</sup></p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレイでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式<sup>(注3)</sup></p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p> <p style="text-align: center;">発電用原子炉の制御方式</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式 (変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式 (変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式 (変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> <p style="text-align: center;">発電用原子炉の制御方式</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49資庁第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。

(2) 発電用原子炉の制御方法  
制御棒の位置の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(4/4)

変更前	変更後
<p>発電用原子炉の制御方法</p>	<p>e 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、"2 out of 3"方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持する設計(フェイル・アズ・イズ)とし、駆動源が喪失したことを運転員が確実に認知できるように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> <p>原子炉トリップ失敗時の1次冷却材のほう素濃度調整として、炉心に十分な量のほう素水を注入する。</p>
<p>発電用原子炉の制御方法</p>	<p>(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。</p> <p>(注2) 記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年10月3日付け49資庁第18127号にて認可された工事計画の添付資料5「制御能力計算書」による。</p> <p>(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載</p> <p>(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。</p> <p>(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。</p>

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-20

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-20

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月28日  
至 令和2年9月28日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月28日	良	須田実 [印]	発電用原子炉 主任技術者 [印]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和2年9月28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和2年 9 月 28 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	




## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和2年 9月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 計測装置 原子炉容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量を計測する装置 恒設代替低圧注水ポンプ出口流量積算 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置 格納容器圧力（広域） 可搬型格納容器内水素濃度計測装置 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置 可搬型アニュラス内水素濃度計測装置 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置 格納容器スプレ流量積算 原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口流量積算 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置 原子炉格納容器水位 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0711（その2）、M3-3-0714 M3-3-0810、M3-3-1013 <del>→目視で確認した範囲→</del>			

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。)にあっては、次の事項

6 計測装置に係る次の事項

(2)原子炉容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

(3/3)

変更前				変更後			
名	称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	取付箇所
余熱除去クローラ出口流量		差圧式流量検出器	0~1,000m <sup>3</sup> /h	-	1	系統名(ライン名) 設置床 溢水防護上の番号 溢水防護上の配管が必要な高さ	変更なし 溢水防護上の番号 溢水防護上の配管が必要な高さ
						系統名(ライン名) 設置床 余熱除去クローラ出口	

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「項目」と記載
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「検出器設置場所」と記載
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材圧力」と記載
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0~70kg/cm<sup>2</sup>G(記録計は0~200kg/cm<sup>2</sup>G)」と記載
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Aループ」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度高温側温度」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0~400℃」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、Cループ高温側」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度低温側温度」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、Cループ低温側」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材平均温度(A、B、Cループ)」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「277~332℃」と記載
- (注16) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。警報動作範囲は計測範囲と同じ
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書にはループごとに「2」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度差(A、B、Cループ)」と記載

- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-150% (0-55.5°C)」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材流量 (A、B、Cループ)」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-120% (100%≒20100m<sup>3</sup>/h)」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書にはループごとに「S」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-225m<sup>3</sup>/h」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全注入ラインヘッド」と記載
- (注25) 積算流量の計測範囲
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-1000m<sup>3</sup>/h」と記載



- (注5) SI単位に換算したものである。
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 $10^{-5} \text{kg/cm}^2$ 」と記載
- (注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。警報動作範囲は計画範囲と同じ
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器」と記載
- (注9) 設計基準対象施設としての値
- (注10) 計測装置の個数4個のうち2個を重大事故等対応設備として使用する。(3PT-950、951)

可搬型

変更前			変更後									
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	付箇所	
						可搬型格納容器内水素濃度計測装置	熱伝導式	0~20vol%	-	1 (予備1)	保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]	

[ ] : 検査対象範囲

(7) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・管設

変更前										変更後									
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作電圧	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作電圧	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作電圧	個数	取付箇所		
					格納容器スプレ流量積算	差圧式流量検出器		0~1,000m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> (概))	-	1							A内部 スプレライン		
					原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口流量積算	差圧式流量検出器		0~150m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> (概))	-	1							原子炉下部 キャビティ 注水ライン		

(注1) 積算流量の計測範囲

(8) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所  
・常設

変更前 (注1)					変更後						
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所 (注2)	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
(注3) 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	(注2) 差圧式水位検出器	(注2) 0~100%	—	(注3) 2	系統名 (ライン名) 格納容器再循環サンプ	系統名 (ライン名) 格納容器再循環サンプ	変更なし	変更なし	—	2	変更なし
(注3) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	(注2) 差圧式水位検出器	(注2) 0~100%	—	(注3) 2	系統名 (ライン名) 格納容器再循環サンプ	系統名 (ライン名) 格納容器再循環サンプ	変更なし	変更なし	—	2	変更なし
						原子炉格納容器水位	電極式水位検出器			1対 (2本)	設置床 溢水防護上の 溢水防護上の 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
						原子炉下部 キャピタレイ水位	電極式水位検出器			1対 (2本)	系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の 溢水防護上の 溢水防護上の 配慮が必要な高さ

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。  
 (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  
 (注3) 水位が検出器に到達した場合ONになる。

： 検査対象範囲



(9) 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・可搬型

変更前				変更後							
名	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
						可搬型アニュラス内水素濃度計測装置	熱伝導式	0~20vol%		1 (予備)	保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]



: 検査対象範囲

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

6 計測装置に係る次の事項

(2)原子炉容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

(3/3)

名	検出器の種類	計測範囲	警報動作電	変更前				変更後				所
				個数	取付箇所	検出器の種類	計測範囲	警報動作電	個数	取付箇所		
恒設代替既圧注水ポンプ出口流量積算	差圧式流量検出器	0~150m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> (est))	-	-	系統(ライン名) 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-	-	-	-	-	変更なし
余熱除去クローラ出口流量	差圧式流量検出器	0~1,000m <sup>3</sup> /h	-	-	系統(ライン名) 設置床	-	-	-	-	-	-	変更なし

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「項目」と記載
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「検出器設置場所」と記載
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材圧力」と記載
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.70kg/cm<sup>2</sup>G (記録計は0.200kg/cm<sup>2</sup>G)」と記載
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A/ループ」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度高側温度」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.400℃」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C/ループ高側」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度低側温度」と記載

： 検査対象範囲

- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、Cループ低温側」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材平均温度(A、B、Cループ)」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「277-332℃」と記載
- (注16) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。警報動作範囲は計測範囲と同じ
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書にはループごとに「2」と記載
- (注25) 積算流量の計測範囲

軽微変更届出 関原発 第418号  
平成30年12月5日

(5) 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

名称	検出器の種類	変更前				変更後				取付箇所
		計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所 (ライン名)	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	
格納容器圧力	弾性圧力検出器	0~490kPa [gage]	0~490kPa [gage]	4 (注1) (2 (注2))	格納容器 設置床	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
格納容器圧力 (広域)	弾性圧力 検出器	0~1MPa [gage]	-	1	格納容器 設置床	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	溢水防護上の 配慮が必要な高さ
格納容器内温度	測温抵抗体	0~220℃	-	2	格納容器 設置床	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

(注1) 設計基準対象施設としての値

(注2) 計測装置の個数4個のうち2個を重大事故等対応設備として使用する。(3PT-950、951)

： 検査対象範囲

(13) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

名	変更前				変更後				所		
	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲		警報動作範囲	個数
格納容器スプレ流稜積算	差圧式流稜検出器	0~1,000m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> (±U))	-	1	系(ライン名)	A内部 スプレライン	変更なし	変更なし	-	-	-
					設置床						
					溢水防護上の区画番号						
原子炉下部キャビテイ注水ポンプ出口流稜積算	差圧式流稜検出器	0~150m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> (±U))	-	1	系(ライン名)	原子炉下部 キャビテイ 注水ライン	変更なし	変更なし	-	-	-
					設置床						
					溢水防護上の区画番号						

(注1) 積算流稜の計測範囲

☐ : 検査対象範囲

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-21

令和2年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-21

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 7 月 9 日  
至 令和 2 年 10 月 26 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。



# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 9 月 7 日	良	大江 勇人 [印]	発電田原原子炉 主任技術者 [印] ボイラー・タービン主任技術者 [印]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⊙・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	⊙・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	⊙・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 安全弁（可搬型） ※1 3V-6714P、(予備：3V-6714Q)：2個 3V-9786、3V-9790、(予備：3V-9786、9790-YOBI)：3個			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div> ※2
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0312、M3-3-0733 ・目視で確認した範囲：3V-6714P ※1：別添1～7参照 ※2：目視で確認した範囲を除く			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
3V-6714P	系統性能検査 運転性能検査	別添8参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和 2 年 7 月 9 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能 検査	圧力計				2019.8.20 2020.8.19	(正)
系統性能 検査	圧力計				2019.8.20 2020.8.19	(副)
以下余白						

## 設 備 概 要

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

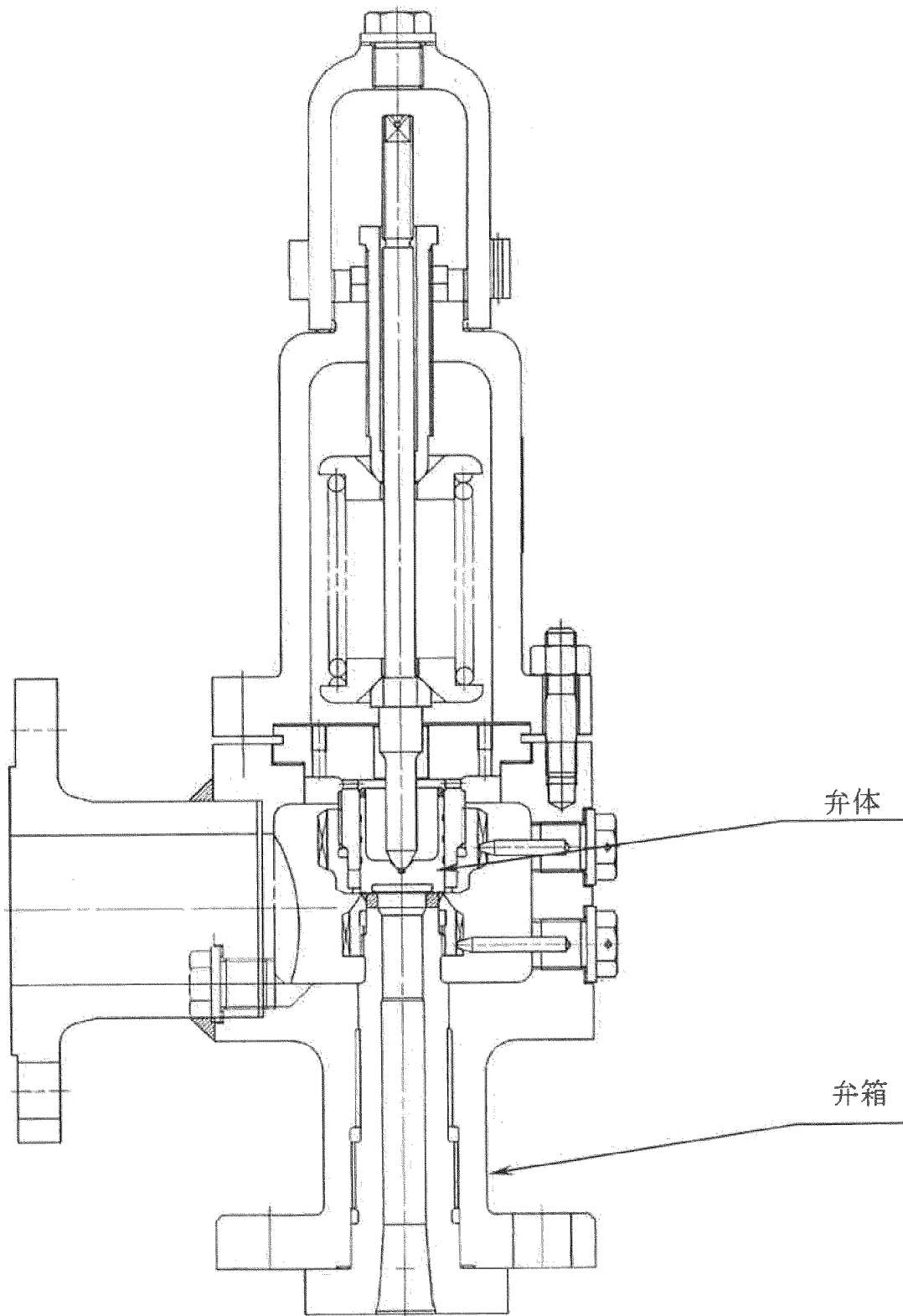
9 制御用空気設備に係る次の事項

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所  
・可搬型

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—		3V-6714P 非平衡形
吹 出 圧 力	MPa		0.83
吹 出 量	kg/h/個		370 以上
主 要 寸 法	呼 び 径	mm	20 <sup>(注1)</sup>
	のど部の径	mm	13 <sup>(注1)</sup>
	弁座口の径	mm	
	リフト	mm	
材 料 ( 弁 箱 )	—		SUSF316
個 数	—		1 (予備1)
取 付 箇 所	—		保管場所： [ 黒色塗りつぶし ] 取付箇所： [ 黒色塗りつぶし ]

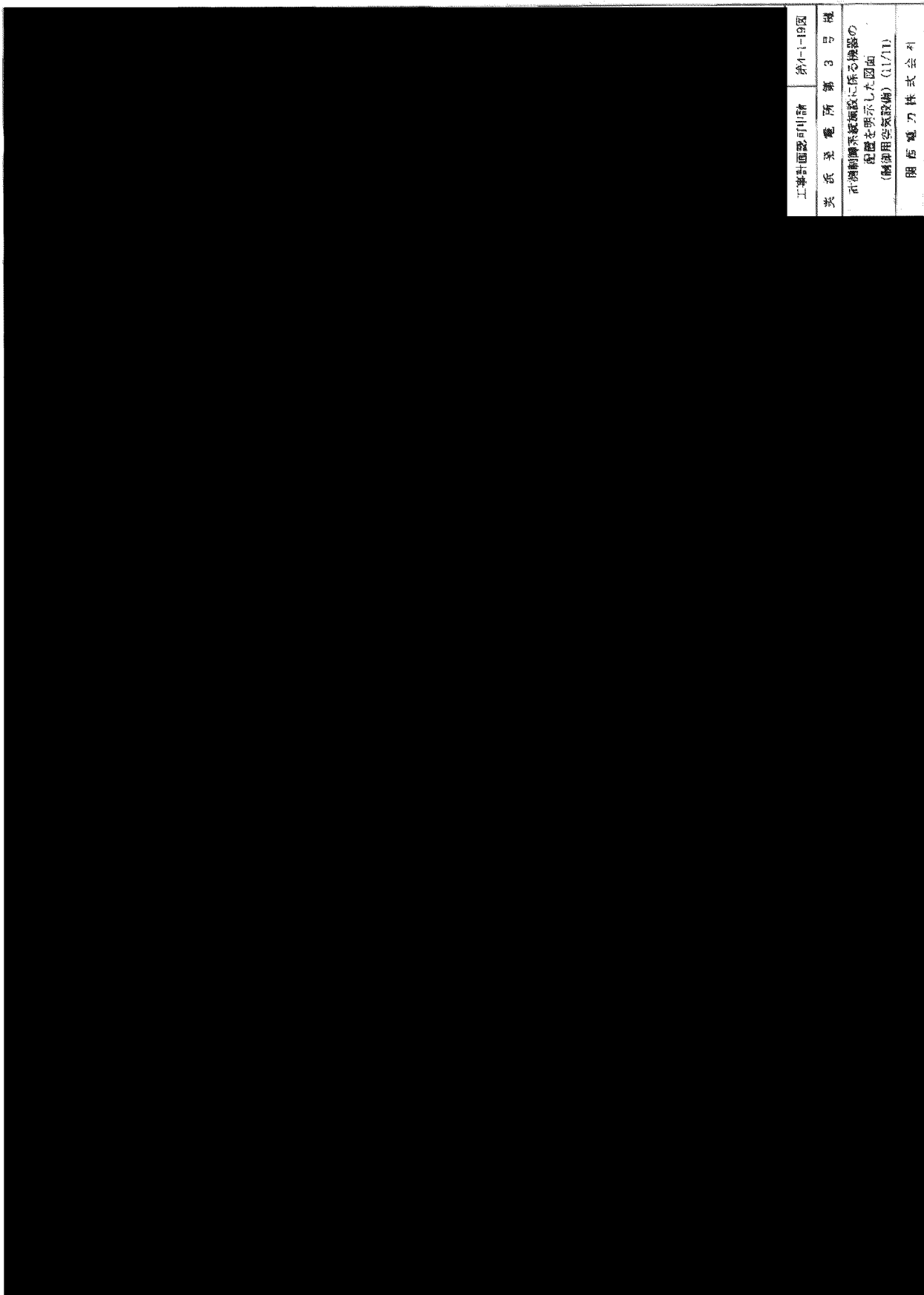
(注1) 公称値

# 検査範囲図



対象弁 3V-6714P (予備 : 3V-6714Q)





工事計画認可申請	第4-1-19図
英 氏 電 電 所 第 3 号 機	
計測制御系試験に係る機器の 配置を明示した図面 (制御用空気設備) (11/11)	
関西電力株式会社	

設 備 概 要

9 制御用空気設備に係る次の事項

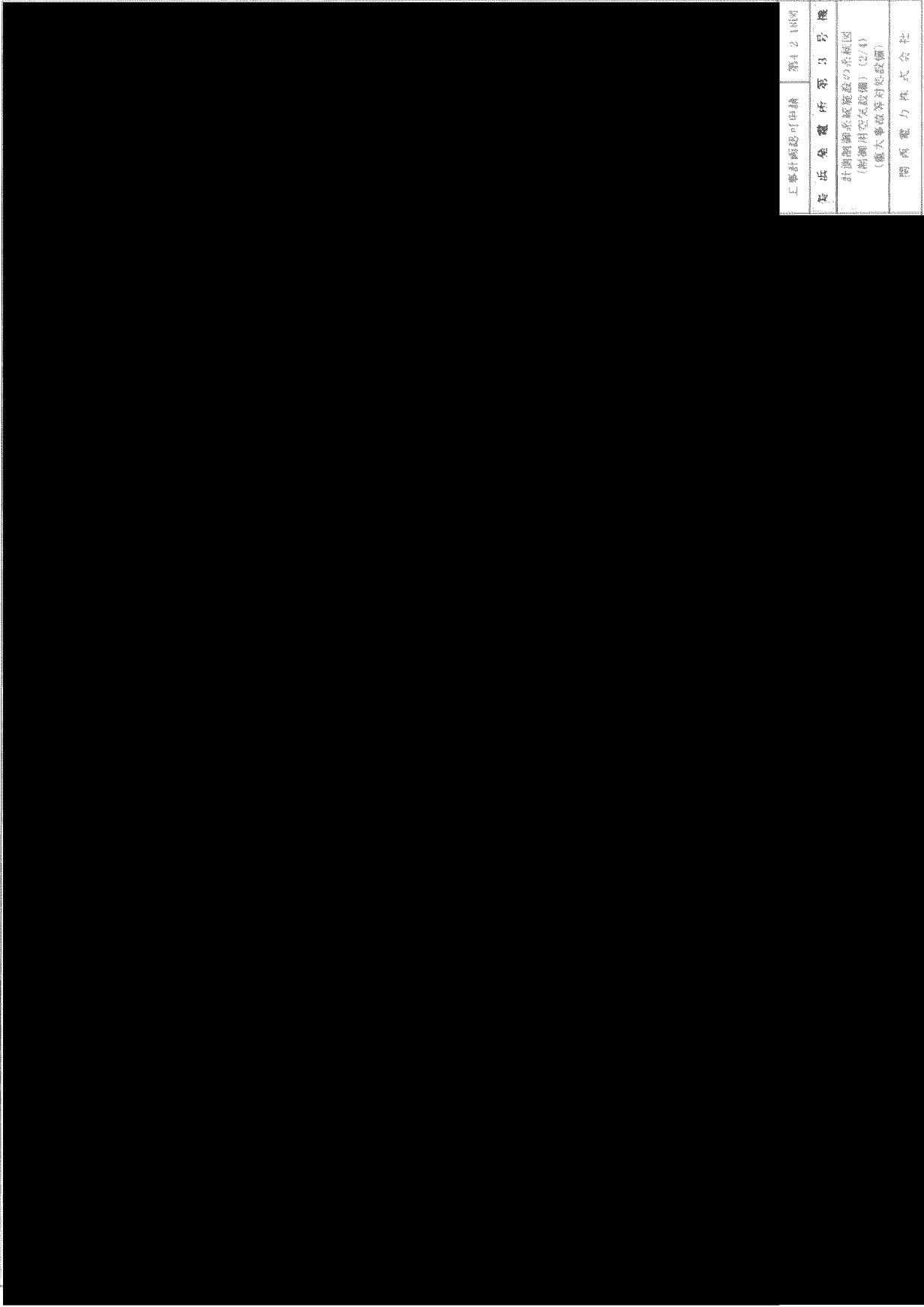
(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				3V-9786、9790
種 類	—			非平衡形
吹 出 圧 力	MPa			0.98
吹 出 量	kg/h/個			430 以上
主 要 寸 法	呼 び 径	mm		20 (注1)
	の ど 部 の 径	mm		13 (注1)
	弁 座 口 の 径	mm		
	リ フ ト	mm		
材 料 ( 弁 箱 )	—			SUSF316
個 数	—			2 (予備1)
取 付 箇 所	—			保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]

(注1) 公称値

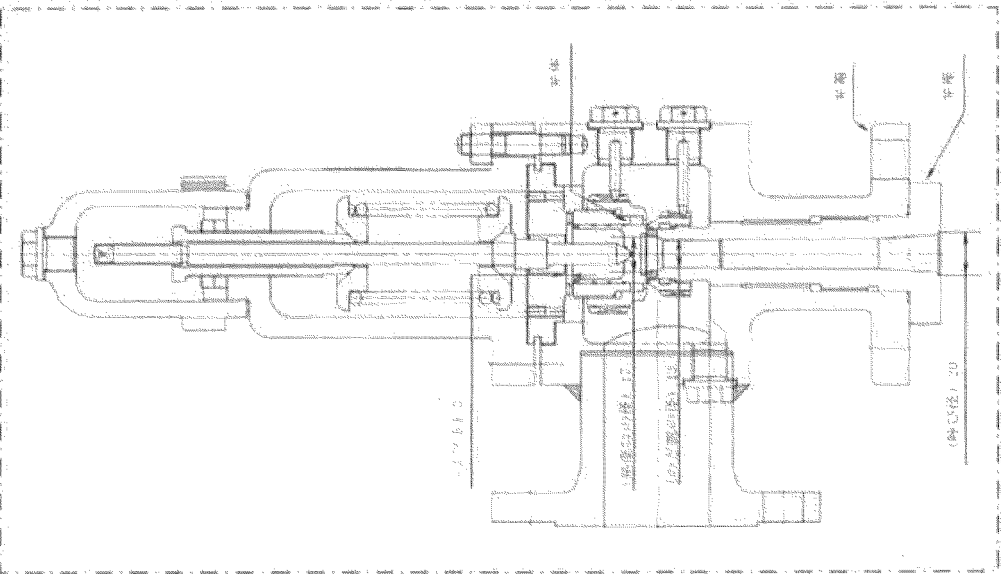
別添5



上巻計画認可申請	第4218号
株式会社	電力研究所
計測制御系監視設備の系範囲 (新測用空気設備) (2/4) (電力研究所等河川設備)	
関西電力株式会社	

目 要 目 表

種 類	非平衡形
吹 出 圧 力	MPa 0.98
吹 出 量	kg/h 130 以上
材 料 ( 弁 箱 )	SUS316
額 数	2 ( 予備 )
取 付 箇 所	保管場所： 中間倉庫 E.L. +24.0m 取付箇所： 2層 保管場所と同じ



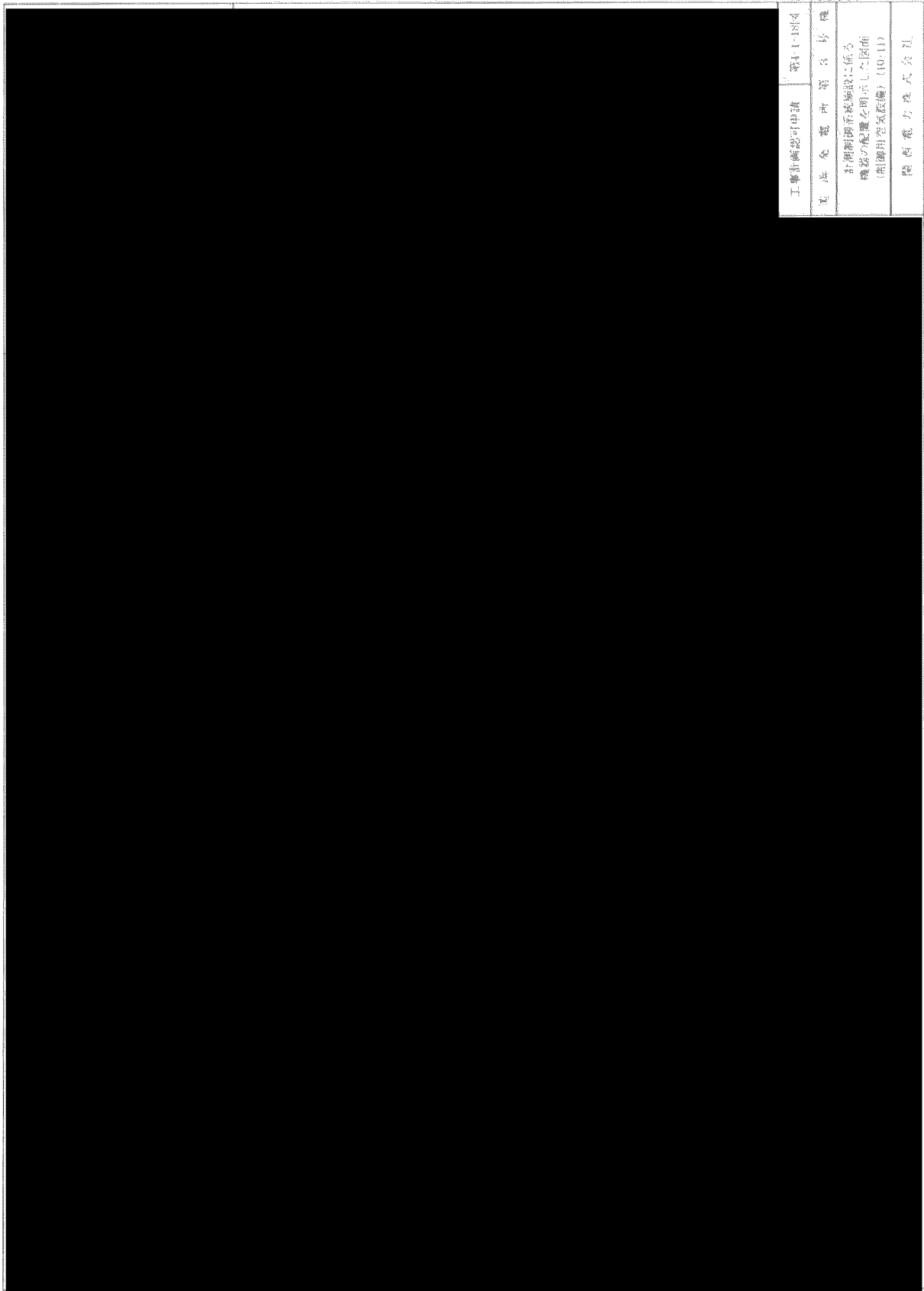
検査範囲図  
(構造図)

検査範囲

工事計画認可申請	第4336号
現在電圧	10kV
財団法人 電力試験センター (新潟県内水戸市) 31-5786, 9790	
関西電力株式会社	

(単位: mm)

別添7



工業計画認可申請	第4-1-181号
生産免状	所第3号機
社側設置設備に係る 機器の配置を明示した図面 (組立用作業経路) (10/11)	
徳西電機株式会社	

運転性能検査記録							
検査対象	項目 (単位)	工事計画 記載値	許容値	確認値	検査年月日	検査 結果	検査方法
3V-6714P	吹出圧力 (MPa)	0.83	0.902 未満 <sup>※1</sup>	0.82	令和 2 年 7 月 9 日	良	目視 記録確認
	吹出量 (kg/h)	370 以上	370 以上 <sup>※2</sup>	817			
	吹出圧力 (MPa)				令和 年 月 日		目視/ 記録確認
	吹出量 (kg/h)						
	吹出圧力 (MPa)				令和 年 月 日		目視/ 記録確認
	吹出量 (kg/h)						
備考							
<p>※1：許容値はJISによる。(吹出圧力の許容値は、吹始め圧力の1.1倍未満とすることから検査時の吹始め圧力が0.82MPaであったため、許容値は0.902MPaとなることを確認した。)</p> <p>※2：許容値は工事計画による。</p>							

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月18日	良	平沢 淳 [Redacted]	発電用原→炉 主任技術者 [Redacted] 本行一、九-Eの主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年8月18日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	



## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年 8 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年 8月 18日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 可搬型 可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用） 空気だめ（加圧器逃がし弁作動用） 増圧装置空気だめ <span style="float: right;">別添 1 参照</span>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能・性能検査 容量確認検査 <sup>※1</sup>	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0726</li> <li>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</li> </ul> <p>※1：容量確認検査において、可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）（A系）について目視検査を実施。</p> <p>その他、可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）（B系）（予備）、空気だめ（加圧器逃がし弁作動用）（A系）（B系）（予備）及び増圧装置空気だめ（A系）（B系）（予備）については記録確認にて、容量確認検査を実施した。</p>			

# 関西電力株式会社美浜発電所第 3 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1 - 2 1

検査年月日：令和 2 年 8 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 可搬型 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能・性能検査 性能検査 <sup>※1</sup>	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</div> </div>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3 - 3 - 0 7 2 6</li> <li>・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照</li> </ul> <p>※1：性能検査において、可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) (A系) について目視検査を実施。</p> <p>その他、可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) (B系) (予備) については記録確認にて、性能検査を実施した。</p>			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1 - 2 1

検査年月日：令和 2 年 8 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 可搬型 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用)	機能・性能検査 容量確認検査 性能検査	別添 2 参照	良	目視
備考 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) (A系) について実施				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年8月18日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認検査	流量計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2020年7月28日	
					2022年7月27日	
性能検査	圧力計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2020年7月30日	
					2021年1月29日	
以下余白						

## 設 備 概 要

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(1) 圧縮機の名称、種類、容量、吐出圧力、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後	
名 称				可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用)	
圧縮機	種 類	—		往復式	
	容 量 <sup>(注1)</sup>	m <sup>3</sup> /h/個		■ 以上 (14.4 <sup>(注2)</sup> )	
	吐 出 圧 力 <sup>(注1)</sup>	MPa		■ 以上	
	主 要 寸 法	た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
	個 数	—		2 (予備1)	
取 付 箇 所	—				
原動機	種 類	—			
	出 力	kW/個			
	個 数	—			
	取 付 箇 所	—			

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

令和2年8月18日 実施分

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名称				(注1) 空気だめ (加圧器逃がし弁作動用)
種	類	—		横置円筒形
容	量 (注2)	m <sup>3</sup> /個		0.080 以上 (0.080 (注3))
最	高 使 用 圧 力 (注2)	MPa		1.05
最	高 使 用 温 度 (注2)	℃		50
主 要 寸 法	直	径	mm	290 (注3)
	全	長	mm	1,280 (注3)
材 料	胴	板	—	SS400
個	数	—		1 (注4)
取 付 箇 所			—	

(注1) 可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 可搬式空気圧縮機（加圧器逃がし弁作動用）1台当りの個数を示す。

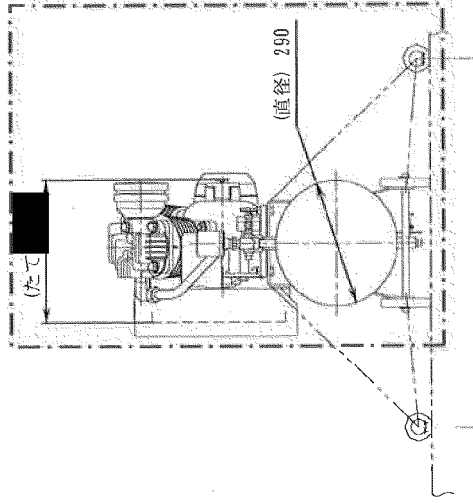
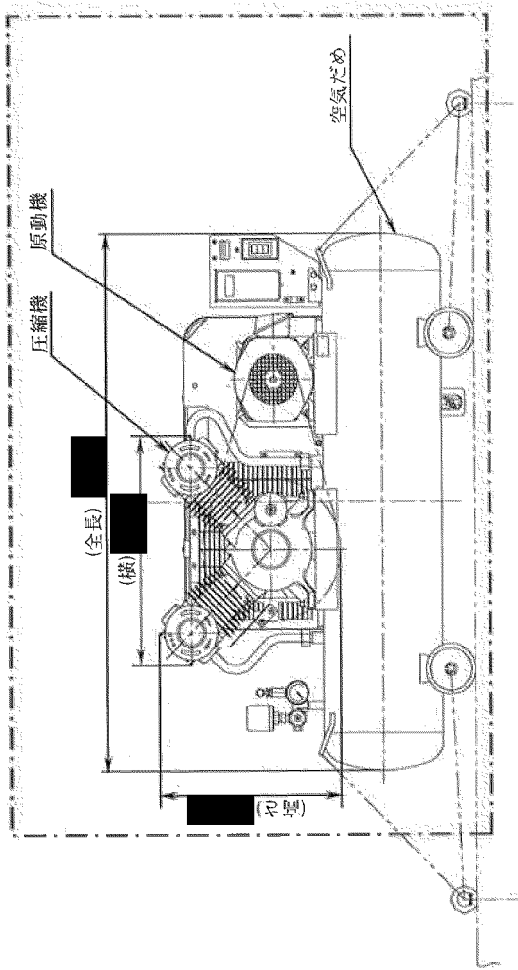
・可搬型

		変更前	変更後
名 称			増圧装置空気だめ
種 類		—	横置円筒形
容 量 (注1)		m <sup>3</sup> /個	
最 高 使 用 圧 力 (注1)		MPa	
最 高 使 用 温 度 (注1)		℃	
主 要 寸 法	直 径	mm	
	全 長	mm	
材 料	胴 板	—	
個 数		—	
取 付 箇 所		—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値





検査範囲

主要目表	
種類	往復式
容量	m <sup>3</sup> /h/個 以上 (14.4)
吐出圧力	MPa 以上
個数	2 (予備1)
取付箇所	
種類	
出力	kW/個
個数	
取付箇所	

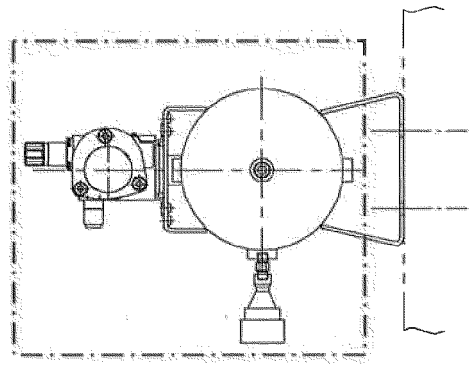
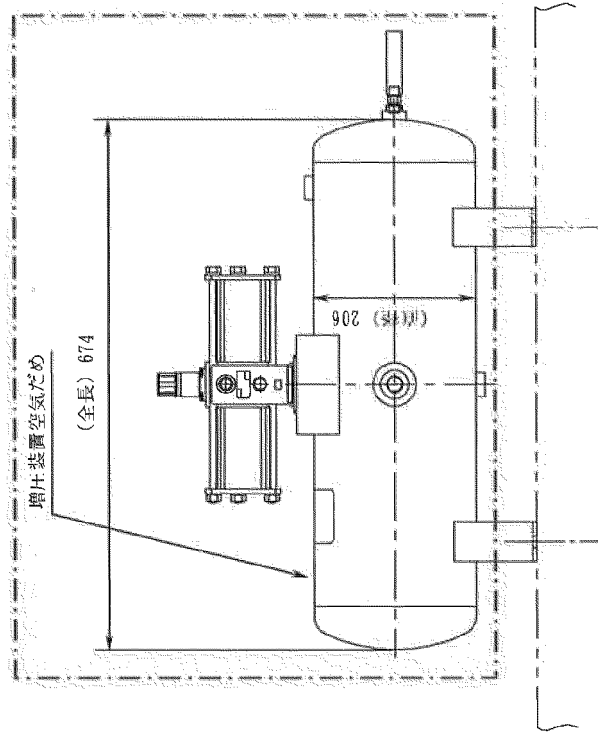
主要目表	
名称	空気だめ (加圧器逃がし弁作動用)
種類	横置円筒形
容量	m <sup>3</sup> /個 0.080 以上 (0.080)
最高使用圧力	MPa 1.05
最高使用温度	℃ 50
材料	SS400
個数	1
取付箇所	

工事計画認可申請	第4-3-31図
美浜発電所	第3号機
計測制御系統施設の構造図 (制御用空気圧縮機 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用))	
関西電力株式会社	

(単位: mm)

工事計画認可申請	第4-32図
美浜発電所	第3号機
計測制御系統施設の構造図 (制御用空気設備)	
増圧装置空気だめ	
関西電力株式会社	

主 要 日 表		横置円筒形
種 類	—	
容 量	m <sup>3</sup> /個	
最 高 使 用 圧 力	MPa	
最 高 使 用 温 度	℃	
材 料	—	
個 数	—	2 (予備1)
取 付 箇 所	—	



(単位: mm)

## 容量確認検査

検査対象	容量 (m <sup>3</sup> /h)	
	許容値	測定値
可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) (A系)	■以上 <sup>※1</sup> (14.4 <sup>※2</sup> )	8.7
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：公称値		

## 性能検査

検査対象	吐出圧力 (MPa)	
	許容値	測定値
可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) (A系)	■以上 <sup>※3</sup>	0.80
備考 ※3：重大事故等時における使用時の値		

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日	検査結果	原子力検査官 検査 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 10月26日	良	増本 豊 環境技官 柏木 智仁	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年10月26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年10月26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年10月26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 容器  別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 容量確認検査 <sup>※1</sup>	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0313、M3-3-0726</li> <li>・目視で確認した範囲：<del>添付資料3-3参照</del></li> </ul> <p>※1：容量確認検査において、窒素ポンベ（アニュラス循環系ダンパ作動用）及び、窒素ポンベ（加圧器逃がし弁作動用）について実施（別添1-4/28、5/28参照）</p>			

# 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年 10月 26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 容器 安全弁 主配管 <div style="text-align: right;">別添1参照</div>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 通水検査※ <sup>1</sup> 系統機能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0726（その2） M3-3-0313、M3-3-0002</li> <li>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</li> </ul> ※1：通気検査			



関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和2年10月26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添1－ 8/28から14/28まで 17/28、 19/28から22/28まで 26/28、27/28参照	系統機能検査 通気検査	－	良	目視※1
別添1－ 1/28から3/28まで 5/28、6/28 8/28から14/28まで 17/28 19/28から22/28まで 26/28、27/28参照	系統機能検査 系統機能検査	－	良	目視※1
備考 ※1：別添－2参照				

令和2年10月26日

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(1) 圧縮機の名称、種類、容量、吐出圧力、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後	
名称				可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用)	
圧縮機	種類	—		往復式	
	容量 <sup>(注1)</sup>	m <sup>3</sup> /h/個		■■■■以上 (14.4 <sup>(注2)</sup> )	
	吐出圧力 <sup>(注1)</sup>	MPa		■■■■以上	
	主要寸法	たて	mm		■■■■
		横	mm		
		高さ	mm		
	個数	—		2 (予備1)	
取付箇所	—		■■■■		
原動機	種類	—		■■■■	
	出力	kW/個			
	個数	—			
	取付箇所	—			

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

令和2年10月26日

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所  
 ・可搬型

変更前			変更後	
名称			(注1) 空気だめ (加圧器逃がし弁作動用) 横置円筒形	
種類	—			
容量 (注2)	m <sup>3</sup> /個		0.080 以上 (0.080 (注3))	
最高使用圧力 (注2)	MPa		1.05	
最高使用温度 (注2)	℃		50	
主要寸法	直 径	mm	290 (注3)	
	全 長	mm	1,280 (注3)	
材料	銅 板	—	SS400	
個 数	—		1 (注4)	
取 付 箇 所	—			

(注1) 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) 1台当りの個数を示す。

・可搬型

			変更前	変更後
名 称			-	増圧装置空気だめ
種 類	-			横置円筒形
容 量	(注1)	m <sup>3</sup> /個		
最 高 使 用 圧 力	(注1)	MPa		
最 高 使 用 温 度	(注1)	℃		
主 要 寸 法	直 径	mm		
	全 長	mm		
材 料	銅 板			
個 数	-			
取 付 箇 所	-			

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

令和2年10月26日

・可搬型

		変更前	変更後
名 称			窒素ポンベ (アニュラス循環系ダンバ作動用)
種 類		—	一般継目なし鋼製容器
容 量 <sup>(注1)</sup>		ℓ/個	
最 高 使 用 圧 力 <sup>(注1)</sup>		MPa	
最 高 使 用 温 度 <sup>(注1)</sup>		℃	
主 要 寸 法	外 径	mm	
	高 さ	mm	
	胴 部 厚 さ	mm	
	底 部 厚 さ	mm	
材 料		—	
個 数		—	
取 付 箇 所		—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

令和2年10月26日

・可搬型

		変 更 前	変 更 後
名 称			窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用)
種 類		—	一般継目なし鋼製容器
容 量 (注1)		ℓ	A : [ ] 以上 (注2)   B : [ ] 以上 (注3)
		ℓ/個	
最 高 使 用 圧 力 (注1)		MPa	
最 高 使 用 温 度 (注1)		℃	
主 要 寸 法	外 径	mm	
	高 さ	mm	
	胴 部 厚 さ	mm	
	底 部 厚 さ	mm	
材 料		—	
個 数		—	
取 付 箇 所		—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ3個を使用して、111.3ℓ以上とする。

(注3) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ1個を使用して、37.6ℓ以上とする。

(注4) 公称値

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名称			-	3V-9786、9790
種類	-			非平衡形
吹出圧力	MPa			0.98
吹出量	kg/h/個			430 以上
主要寸法	呼び径	mm		20 (注1)
	のど部の径	mm		13 (注1)
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
材料 ( 弁箱 )				SUSF316
個数				2 (予備1)
取付箇所			保管場所： [REDACTED]	
			取付箇所： [REDACTED]	

(注1) 公称値

令和2年10月26日

・可搬型

		変更前	変更後
名称			3V-6714P
種類	—		非平衡形
吹出圧力	MPa		0.83
吹出量	kg/h/個		370 以上
主要寸法	呼び径	mm	20 <sup>(注1)</sup>
	のど部の径	mm	13 <sup>(注1)</sup>
	弁座口の径	mm	
	リフト	mm	
材料 ( 弁箱 )		—	SUSF316
個数		—	1 (予備1)
取付箇所		—	保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]

(注1) 公称値



(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料  
 原規規発第 1610261 号 平成 28 年 10 月 26 日

・常設

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注1) 格納容器貫通部 PEN#332、328 上流配管合流点 ~ 弁 (3MOV-6202 及び 3MOV-6203)	(注2) 0.83	50	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPG42	制御用空気設備 変更なし	(注6) 0.98	(注6) 50	(注3,6,7) (差し込み部の内径) 61.1	(注6,7) 6.0	(注6,7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
							変更なし	(注6,7) 0.98	(注6,7) 50	(注3,6,7) (差し込み部の内径) 61.1	(注6,7) 6.0

別添-1 (8/28)

令和2年10月26日

令和2年10月26日

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注1)									(注6)	(注6)	
格納容器貫通部 PEN#332、328 上流配管合流点 ~ 弁 (3MOV-6202 及び 3MOV-6203)			—			変更なし	0.98	50	61.1	6.0	ASTM A105 GrII (S25C 相当)
制御用空気設備						制御用空気設備			(差し込み部の内径) 61.1	(差し込み部の内径) 6.0	(注6)

令和2年10月26日

変更前					変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	
						(注6)			(注3)	26.7	(注2) 2.9	STPG42
						ホース接続口 (3V-6218A上流) 及び ホース接続口 (3V-6218B上流)	(注5) 0.98	(注5) 50	(注3) (穴径) 20.5	(最小) 4.2 /	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)	
					制御用空気設備	格納容器貫通部 PEN#332、328 上流配管合流点			(穴径) 20.5	(注3) (4.2 /	4.2)	

令和2年10月26日

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
制御用空気設備 弁 (3V-6204A、B) ~ 弁 (3V-6277D、B)	0.83	50	(注4)	(注3.11)	(注11)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			33.4	3.4	STPG410						
			(注3)	(注3)							
			34.0	3.4	STPT38						
			(注3.13)	(注3.13)	(注13)						
			34.0	3.4	STPT370						
			(注3)	(注3)							
			60.3	3.9	STPG42						
			(注3.11)	(注3.11)	(注11)						
			60.3	3.9	STPG410						
(注3)	(注9)										
60.5	3.9	STPT38									
(注3.13)	(注3.13)	(注13)									
60.5	3.9	STPT370									

令和2年10月26日

変更前				変更後			
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
制御用空気設備 弁 (3V-6204A、B) ~ 弁 (3V-6277D、B)	(注4)				(注3,7)	(注3,7)	(注7)
					33.4	3.4	STPT410
					34.0	3.4	STPT370
					(注3,6,7)	(注3,6,7)	(注6,7)
				60.5	3.9	STPT38	
				(注3,7)	(注3,7)	(注3,7)	(注7)
				60.5	3.9	STPT370	
				(注3)	(注3)	(注3)	
				60.3	3.9	3.9	STPT410
				34.0	3.4	3.4	STPT410
制御用空気設備				変更なし			
制御用空気設備				制御用空気設備			

令和2年10月26日

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注4)											
制御用空気設備						制御用空気設備					
弁 (3V-6204A、B)						変更なし	(注5) 0.98	(注5) 138	60.5	3.9	STPT370
~											
弁 (3V-6277D、B)									(注3, 6, 7) 33.4	(注6, 7) 3.4	
									(注3, 6, 7) (差し込み部の内径) 34.5	(注6, 7) (最小) 5.0	(注6, 7) S25C

令和2年10月26日

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	料
制御用空気設備	(注4)			(注3,6)	(注6)		
	弁 (3V-6204A、B) ～ 弁 (3V-6277D、B)	(注5) 0.98	138	(差し込み 部の内径) 61.1 / (差し込み 部の内径) 61.1 / -	(最小) 6.0 / (最小) 6.0 / -	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)	
制御用空気設備				変更なし			

令和2年10月26日

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料
制御用空気設備							
	ホース接続口 ～ 弁 (3V-6226G)	0.98 (注6)	50 (注5)	27.2 (注3)	2.9 (注3)		STPT370

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B計器用空気乾燥器～格納容器内弁 (3-6204A、B) J」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注5) 重大事故等時における使用時の値



令和2年10月26日

- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B計器用空気乾燥器出口ライン分岐点～計器用補助空気そう」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用補助空気そう入口ラインの分岐点～各止弁」と記載
- (注11) STP042同等材 (STP0410) への取替を行う。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B計器用空気乾燥器出口ライン分岐点～中間建屋および補助建屋への供給母管～各止弁」と記載
- (注13) STPT38同等材 (STPT370) への取替を行う。

令和2年10月26日

・可搬型

変更前		変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所	
窒素ポンベ (加圧器逃がし弁 作動用 (A系) ) ～ ホース先端	(注1) 0.98	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注3) : [Redacted]	
	(注1)	(注1)	(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所 : [Redacted]	
	(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T		
制御用空気設備			(注4, 5) 15A	(注5, 6) —	(注5) SUS304 PFA		

令和2年10月26日

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
窒素ポンベ (加圧器逃がし弁 作動用 (B系) ) ～ ホース先端	(注1) 0.98	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注3): [Redacted]		
	(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所: [Redacted]		
			(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T			
制御用空気設備								

令和2年10月26日

変更後						
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
-	加圧器逃がし弁 作動用制御用 空気ライン 窒素供給用 ■■■■ (B系)、 ■■■■ (A系) フレキシブルホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 20A	(注6) -	SUS316L
	制御用空気設備					
						取付箇所 保管場所：■■■■ 取付箇所：■■■■





令和2年10月26日

変更後						
変更前	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
—	可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁 作動用) 減圧装置行き ■ mフレキシブル ホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 1/4B	(注6) —	SUS316L
	制御用空気設備					
						取付箇所 ■ ■
						保管場所 (注8): ■ ■ 取付箇所: ■

令和2年10月26日

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
制御用空気設備	0.98 <small>(注1)</small>	50 <small>(注1)</small>	1/4B <small>(注4)</small>	— <small>(注6)</small>	SUS316L	保管場所 <small>(注8)</small> [Redacted]	取付箇所 [Redacted]	
減圧装置 増圧装置行き [Redacted] フレキシブルホース								

令和2年10月26日

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
増圧装置 窒素ボンベ (加圧器逃がし弁 作動用) 行き  m (A系)、  m (B系) フレキシブルホース	0.98	50	3/4B		SUS316L	保管場所 <sup>(注9)</sup> ;  取付箇所 ; 	
制御用空気設備							

令和2年10月26日

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材質	取付箇所	取付箇所	
制御用空気設備	(注1) 0.98	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注10) : [Redacted]		
	(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所 : [Redacted]		
			(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T			



令和2年10月26日

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	制御用空気設備 アニュラスダンプ用 制御用空気ライン 窒素供給用 フレキシブルホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 20A	(注6) -	SUS316L	保管場所 (注1) : [Redacted]  取付箇所 : [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 当該マニホールド台 ( [Redacted] ) 以上を保管する。

(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注5) 本設備は [Redacted] mフレキシブルホースである。

(注6) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

令和2年10月26日

- (注7) 当該ホース( ) 以上を保管する。
- (注8) 当該ホース( ) 以上を保管する。
- (注9) 当該ホース( ) 以上を保管する。
- (注10) 当該マニホールド台( ) 以上を保管する。
- (注11) 当該ホース( ) 以上を保管する。

		変 更 前						変 更 後								
名	称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
		(注1)	(注1)	(注4)	(注5)	(注6)	(注12)	(注12)		(注13)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)
	制御用空気設備							保管場所： [REDACTED]								保管場所： 変更なし
	減圧装置 増圧装置 空気だめ 行き [REDACTED] フレキ シブル ホース	0.98	50	1/4B	—	SUS 316L (予備1)	2	取付箇所： [REDACTED]	制御用空気設備							取付箇所： [REDACTED]

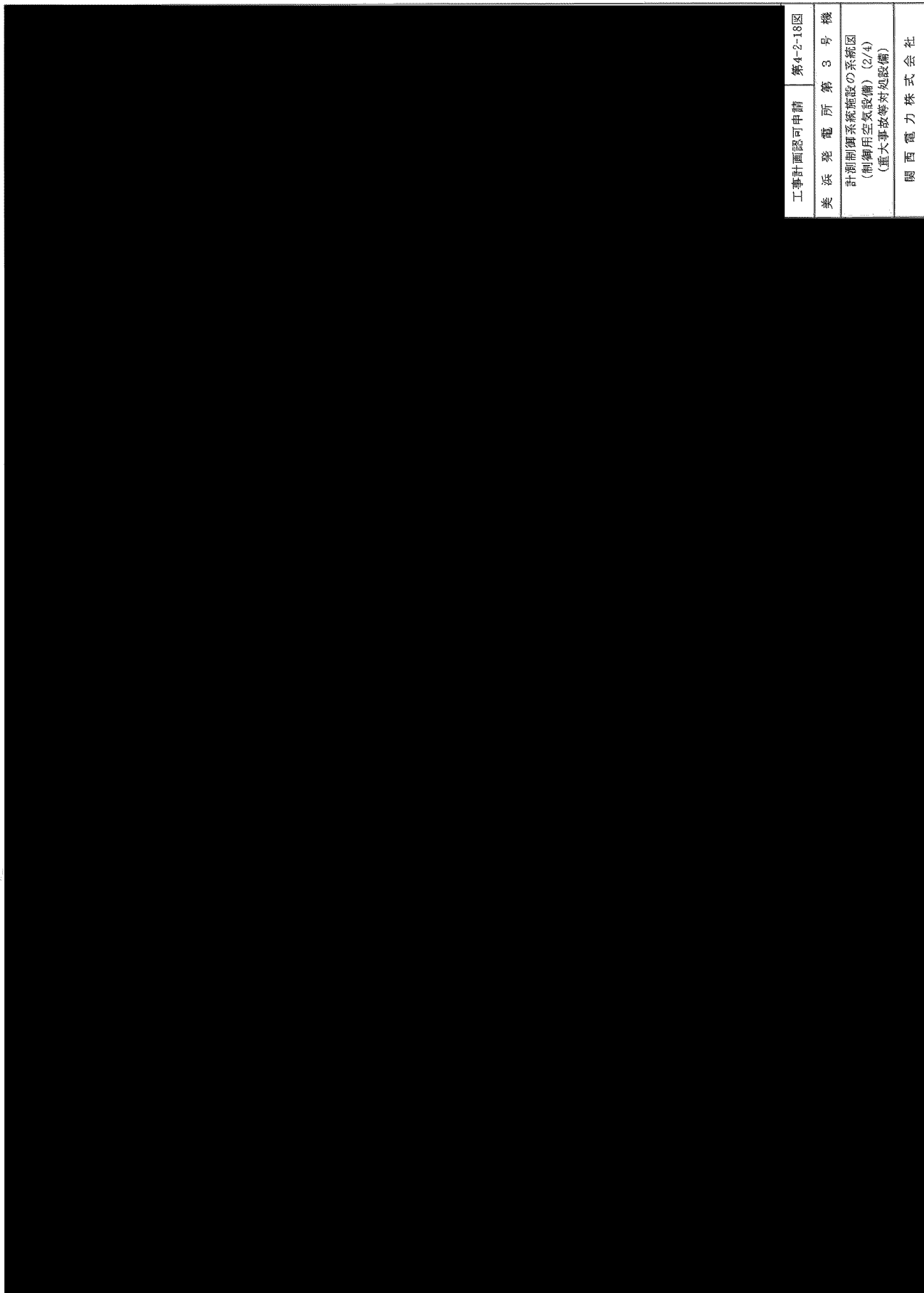
令和2年10月26日

変更前				変更後				
名	称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数 (注12)	取付箇所 (注12)
制御用空気設備	(注14) 増圧装置 空気だめ 窒素ボンベ (加圧器 逃がし弁 作動用) 行き (A系)、 (B系) フレキシ シブル ホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 3/4B	(注6) —	SUS 316L	(注15) 2 (予備1)	保管場所： [黒塗り]
								取付箇所： [黒塗り]
								保管場所： 変更なし
								取付箇所： [黒塗り]



令和2年10月26日

別添-2



工事計画認可申請	第4-2-18区
美浜発電所	第3号機
計測制御系統施設の系統図 (制御用空気設備) (2/4) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99  
成績書管理番号：1-22

令和2年9月  
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-22

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月28日  
至 令和2年9月2日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) <del>関原発第 239号(2020年 8月21日)</del>
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-22

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月28日	良	足立 恭二 須貝 実	洗電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし

# 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 7月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

### 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 7月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 7月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
放射線管理施設 放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 緊急時対策所外 可搬型エリアモニタ：1（予備1） 緊急時対策所内 可搬型エリアモニタ：1（予備1） 別添1～3参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・校正検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1102 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 7月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
緊急時対策所外 可搬型エリアモニタ	性能検査 ・校正検査	別紙1参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年7月28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 ・校正検査	マーキュリー クリスタルセンサー				2020. 6. 17 2021. 6. 16	
以下余白						

放射線管理施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

1 放射線管理用計測装置に係る次の事項

(2) エリアモニタリング設備に係る次の事項

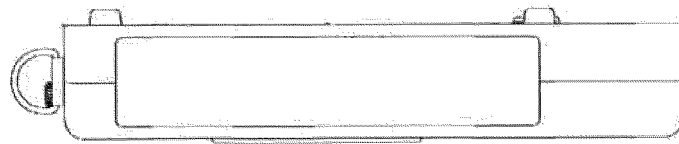
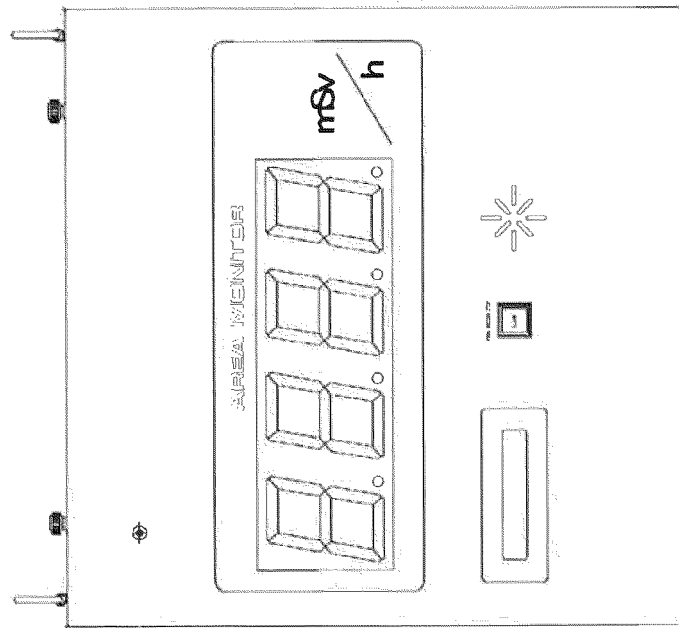
ハ 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所及び個数

・可搬型

変更前				変更後							
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数
						緊急時対策所外 可搬型エリアモニタ		0.001mSv/h ～ 99.99mSv/h	—	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]	1 (予備1)
						緊急時対策所内 可搬型エリアモニタ		0.001mSv/h ～ 99.99mSv/h	—	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]	1 (予備1)

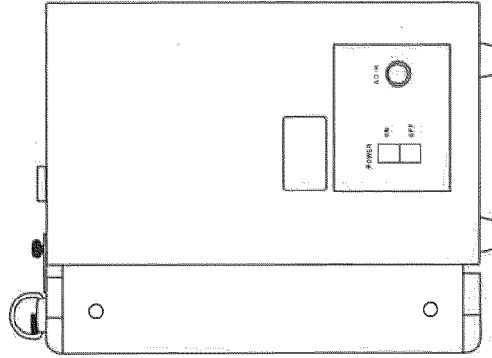
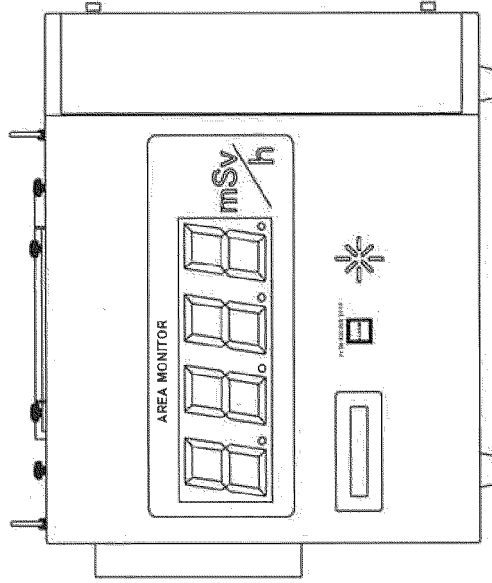
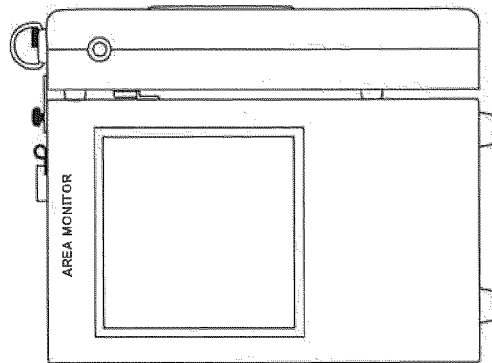
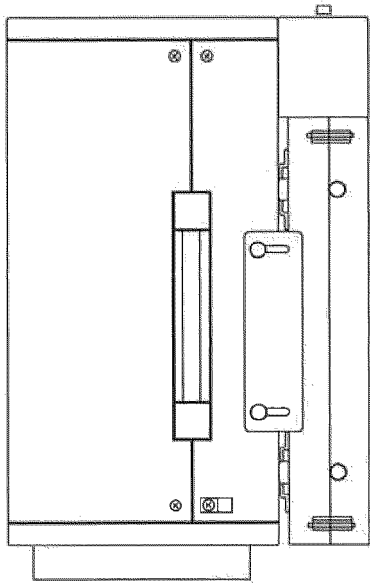


主 要 目 表	
検出器の種類	■■■■■
計測範囲	0.001mSv/h~99.99mSv/h
警報動作範囲	—
取付箇所	保管場所：■■■■■ 取付箇所：■■■■■
個数	1 (予備1)



工事計画認可申請	第6-3-1図
美浜発電所第3号機	
放射線管理施設の構造図 (放射線管理用計測装置) 緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	
関西電力株式会社	

主 要 目 録	
検出器の種類	■
計測範囲	0.001μSv/h~99.99mSv/h
警報動作範囲	■
保管場所	■
取付箇所	■
個数	1 (予備1)



工事計画認可申請	第6-3-2図
美浜発電所	第3号機
放射線管理施設の構造図 (放射線管理用計測装置)	
緊急時対策所内可搬型エリアモニタ	
関西電力株式会社	

校正検査記録 (計測範囲確認検査)		
検査対象 (製造番号)	計測範囲 (mSv/h)	測定値 (mSv/h)
205T0522	0.001	0.001
	99.99	99.99

校正検査記録 (指示機能確認検査)				
検査対象 (製造番号)	基準値 (mSv/h)	許容値 <sup>※1</sup> (mSv/h)	測定値 (mSv/h)	
			指示値	記録値
205T0522	[Redacted]	[Redacted]	0.005	0.005
			0.050	0.050
			0.500	0.500
			5.004	5.004
			50.04	50.04

※1：許容値はメーカー基準による。

校正検査記録 (線源校正検査)				
検査対象 (製造番号)	基準値 (mSv/h)	許容値 <sup>※2</sup> (mSv/h)	測定値 (mSv/h)	
			線量当量率	正味線量当量率
205T0522	[Redacted]	[Redacted]	0.004	0.004
			0.051	0.051
			0.525	0.525
			5.194	5.194
			53.04	53.04
	バックラウンド	-	0.000	

※2：許容値はメーカー基準による。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-22

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月2日	良	須貝実 洪谷徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 9月 2日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

### 検査前確認事項

#### 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年9月2日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和 2 年 9 月 2 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
放射線管理施設 放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備（可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ） 移動式周辺モニタリング設備 （可搬式モニタリングポスト：その他発電用原子炉の附属施設（緊急時対策所）のうち緊急時対策所機能と兼用） （電離箱サーベイメータ） 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
・性能検査 校正検査（計測範囲確認検査、線源校正検査）	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0707 M3-3-1103 M3-3-1107 ・目視で確認した範囲			


## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-22

検査年月日：令和2年 9月 2日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
放射線管理施設 放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 (NaIシンチレーションサーベイメータ、汚染サーベイメータ、ZnSシンチレーションサーベイメータ、β線サーベイメータ) ※別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
・性能検査 校正検査 (計測範囲確認検査、指示機能確認検査、線源校正検査)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1103 ・目視で確認した範囲			



放射線管理施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

1 放射線管理用計測装置に係る次の事項

(2) エリアモニタリング設備に係る次の事項

ホ 使用済燃料貯蔵庫エリアの線量当量率を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所及び個数

・可搬型

変更前				変更後							
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数
			—			可搬式使用済燃料ピット 区域周辺エリアモニタ		0.01mSv/h ～ 100mSv/h	—	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]	2 (予備1)

別添1 (1/2)

令和2年9月2日

(4) 移動式周辺モニタリング設備の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

名称	検出器の種類	変更前			変更後			取付箇所	
		種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	種類		計測範囲
可搬式モニタリングポスト <small>(注1)</small>	NaI (Tl) シンチレーション及び半導体式	10nGy/h ～ 1,000mGy/h	—	10 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		
電離箱サーベイメータ	電離箱	1μSv/h ～ 300mSv/h	—	2 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		
NaIシンチレーションサーベイメータ	NaI (Tl) シンチレーション	0.01μGy/h ～ 30μGy/h	—	2 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		
汚染サーベイメータ	プラスチックシンチレーション	0kmin <sup>-1</sup> ～ 300kmin <sup>-1</sup>	—	2 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		
ZnSシンチレーションサーベイメータ	ZnS (Ag) シンチレーション	0kmin <sup>-1</sup> ～ 99.9kmin <sup>-1</sup>	—	1 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		
β線サーベイメータ	プラスチックシンチレーション	0kmin <sup>-1</sup> ～ 300kmin <sup>-1</sup>	—	1 (予備1)	取付箇所: [ ]	取付箇所: [ ]	保管場所: [ ]		

(注1) その他発電用原子炉の附属施設(緊急時対策所)のうち緊急時対策所機能と兼用

(注2) アクセシブルとなった代替測定については、原子炉中心から同じ方向の測定にて確認する。

(注3) 発電所及びその周辺(発電所の周辺海域を含む。)のうち、任意の場所でのモニタリング時に使用する。

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-23

令和2年 8月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-23

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年8月19日  
至 令和2年8月19日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-23

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月19日	良	平沢 淳 [Redacted]	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-23

検査年月日：令和2年8月19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-23

検査年月日：令和2年 8月 19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	



## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-23

検査年月日：令和 2年 8月 19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 送風機 可搬型 緊急時対策所非常用空気浄化ファン フィルター 可搬型 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット <span style="float: right;">別添 1 参照</span>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能・性能検査 系統性能検査 ファン運転性能検査  性能検査 フィルタ性能検査 微粒子フィルタ性能検査 よう素フィルタ性能検査	設備及び機器が工事計画に従い 製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">目視<sup>※1</sup></div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0315 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照  ※1：ファン運転性能検査として、A緊急時対策所非常用空気浄化ファンに目視検査を実施 フィルタ性能検査（よう素フィルタ性能検査）として、A緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニットに対し目視検査を実施			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-23

検査年月日：令和2年 8月 19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定 値等	検査 結果	検査 方法
放射線管理施設 換気設備 送風機 可搬型 緊急時対策所非常用空気浄化 ファン	機能・性能検査 系統性能検査 ファン運転性能検査 ※1	別添 2 参照	良	目視
フィルター 可搬型 緊急時対策所非常用空気浄化 フィルタユニット	機能・性能検査 性能検査 フィルタ性能検査 ※2	別添 3 参照	良	
備考 ※1：ファン運転性能検査として、A緊急時対策所非常用空気浄化ファンに目視検査を実施 ※2：フィルタ性能検査（よう素フィルタ性能検査）として、A緊急時対策所非常用空気浄化フィ ルタユニットに対し目視検査を実施				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-23

検査年月日：令和2年8月19日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査	対策本部 圧力	[REDACTED]			2020年2月17日 2023年2月16日	本設計器
系統性能検査	便所圧力				2020年2月17日 2023年2月16日	本設計器
系統性能検査	アネモマス ター風速計				2018年3月9日 2021年3月8日	
系統性能検査	ノギス				2019年4月12日 2021年4月11日	
性能検査	フッ素化炭 素化合物濃 度測定装置				2020年5月22日 2020年11月21日	(上流) (下流)
以下余白						

設 備 概 要

放射線管理施設

2 換気設備に係る次の事項

(3) 送風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後	
送風機	名 称			緊急時対策所非常用空気浄化ファン	
	種 類	-		遠心式	
	容 量 (注1)	m <sup>3</sup> /min/個		■以上 (25 <sup>(注2)</sup> )	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		241 <sup>(注2)</sup>
		吐 出 口 径	mm		241×168 <sup>(注2)</sup>
		た て	mm		760 <sup>(注2)</sup>
		横	mm		890 <sup>(注2)</sup>
		高 さ	mm		1,035 <sup>(注2)</sup>
	個 数	個		1 (予備2)	
	取 付 箇 所		-		保管場所： ■ 取付箇所： ■
原動機	種 類	-		三相誘導電動機	
	出 力	kW/個		3.7	
	個 数	-		1 (予備2)	
	取 付 箇 所	-		送風機と同じ	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値



令和2年8月19日 実施分

放射線管理施設

2 換気設備に係る次の事項

(5) フィルターの名称、種類、効率、主要寸法、個数及び取付箇所

・可搬型

名称			変更前	変更後
				緊急時対策所非常用空気浄化 フィルタユニット
種	類	—		微粒子フィルタ      よう素フィルタ
効率	単体除去効率 (注1)	%		99.97 以上 (0.15μm粒子)
	総合除去効率 (注1)	%/個		99.99 以上 (0.7μm粒子)
主要寸法	吸 込 口 径	mm		360 (注3)
	吐 出 口 径	mm		360 (注3)
	た                      て	mm		988 (注3)
	横	mm		5,708 (注3)
	高                      さ	mm		1,374 (注3)
個	数	—		1 (予備2)
取 付 箇 所				保管場所：  取付箇所： 

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) フィルタ2段

(注3) 公称値

## 系統性能検査（ファン運転性能検査）

検査対象	換気容量 (m <sup>3</sup> /min)	換気容量 測定値 (m <sup>3</sup> /min)
A 緊急時対策所非常用空気 浄化ファン	17以上 <sup>※1</sup> (25 <sup>※2</sup> )	28
<p>備考</p> <p>※1：重大事故等時における使用時の値</p> <p>※2：公称値</p>		

性能検査 (フィルタ性能検査 (よう素フィルタ性能検査))

検査対象		総合除去効率				
		単体除去効率 [%] ※2	漏えい率 [%]	総合除去効率 (1段) [%]	判定基準 [%]	総合除去効率 (2段) [%]
A緊急時対策所非 常用空気浄化ファイ ルユニット	有機よう素	99.76	0.06	99.70	99.75 以上※1	99.99
	無機よう素	99.76	0.10	99.66	99.99 以上※1	99.99
	前段	99.99	0.06	99.93		
	後段	99.99	0.10	99.89		

備考

※1：相湿度95%、温度30℃において

※2：申請者の品質記録 (※3) による

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0315

・ 総合除去効率 (1段)  

$$\text{総合除去効率 (1段)} = \text{単体除去効率} \times \left[ 1 - \frac{\text{漏えい率}}{100} \right] \text{ [%]}$$

・ 総合除去効率 (2段)  

$$\text{総合除去効率 (2段)} = 100 \times \left[ 1 - \left( 1 - \frac{\text{総合除去効率 (前段)}}{100} \right) \times \left( 1 - \frac{\text{総合除去効率 (後段)}}{100} \right) \right] \text{ [%]}$$

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99  
成績書管理番号：1-24-1

令和 2 年 8 月

原子力規制委員会



使用前検査成績書

成績書管理番号：1-24-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 8 月 26 日  
至 令和 2 年 8 月 26 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録





## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 8 月 26 日	良	上田 洋  福富 晋一 	梶 久  主任技術者	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 26 日

検査場所：美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 26 日

検査場所：美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 26 日

検査場所：美浜発電所

## 検査結果

検 査 対 象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 再結合装置及び電熱器 原子炉格納容器水素燃焼装置 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 電気容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1002 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 26 日

検査場所：美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No.2	性能検査 電気容量確認検査	別添2参照	良	目視 <del>※</del>
以下余白				
備考 <del>※</del> 当該水素燃焼装置のヒータ部が赤熱しては確認				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-24-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 26 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 電気容量確認 検査	デジタルマ ルチメータ				2020. 6. 23 2021. 6. 22	
以下余白						





電気容量確認検査

検査対象	容量 (W/個)	
	許容値	測定値
原子炉格納容器水素燃焼装置 No.2	<div style="background-color: black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 以上 <sup>※1</sup> (556 <sup>※2</sup> )	575.5 (562.1) <sup>※3</sup>
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：公称値 ※3：定格電圧(120V)と専任抵抗測定値から算出した値		

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-24-2

令和 2 年 8 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-24-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 8 月 27 日  
至 令和 2 年 8 月 28 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録





## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 27 月 28 日	良	上田 洋 	発電用原子炉主任技術者  原子力安全技術者 	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	



## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

## 検査結果

検 査 対 象			
圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 再結合装置 静的触媒式水素再結合装置      別添1参照、別添2参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
触媒反応確認検査 触媒重量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※1
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0106 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：令和2年8月27日に記録確認を実施（FR1-380T-MB-030を除く。）			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 28 日

検査場所：美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
静的触媒式水素再結合装置 別添2参照	触媒反応確認検査	-	良	目視
以下余白				
備考：FR1-380T-MB-030 の触媒プレートのうち3枚 (G042496、G042494、G045115) について確認				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-24-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 28 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
触媒反応確認検査	直尺				2019. 2. 8 2021. 2. 7	
触媒反応確認検査	ストップウ ォッチ				2020. 7. 8 2022. 7. 7	
触媒反応確認検査	瞬間流量計				2020. 6. 4 2021. 6. 3	
触媒反応確認検査	マルチレコ ーダ				2020. 6. 1 2021. 5. 31	
触媒反応確認検査	測温抵抗体				2020. 5. 29 2021. 5. 28	
触媒反応確認検査	測温抵抗体				2020. 5. 29 2021. 5. 28	
以下余白						

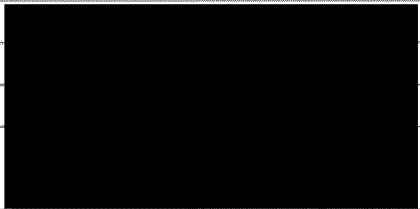

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

- (4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項  
 ル 再結合装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、再結合効率、主要寸法、材料、  
 個数及び取付箇所並びに電熱器の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

			変更前	変更後
名 称			—	静的触媒式水素再結合装置
種 類	—	静的触媒式		
容 量	—	—		
最 高 使 用 圧 力	—	—		
最 高 使 用 温 度 (注1)	℃	500		
再 結 合 効 率 (注2)	kg/h/個	1.2 (水素濃度 4vol%、圧力 0.15MPa[abs])		
主 要 寸 法	横 寸	mm		
	奥 行 寸	mm		
	高 寸	mm		
材 料	本 体	—		
個 数	—	5		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	静的触媒式水素再結合装置	
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 再結合効率は、メーカ型式 FR1-380T の性能評価式の代表点での値

(注3) 公称値

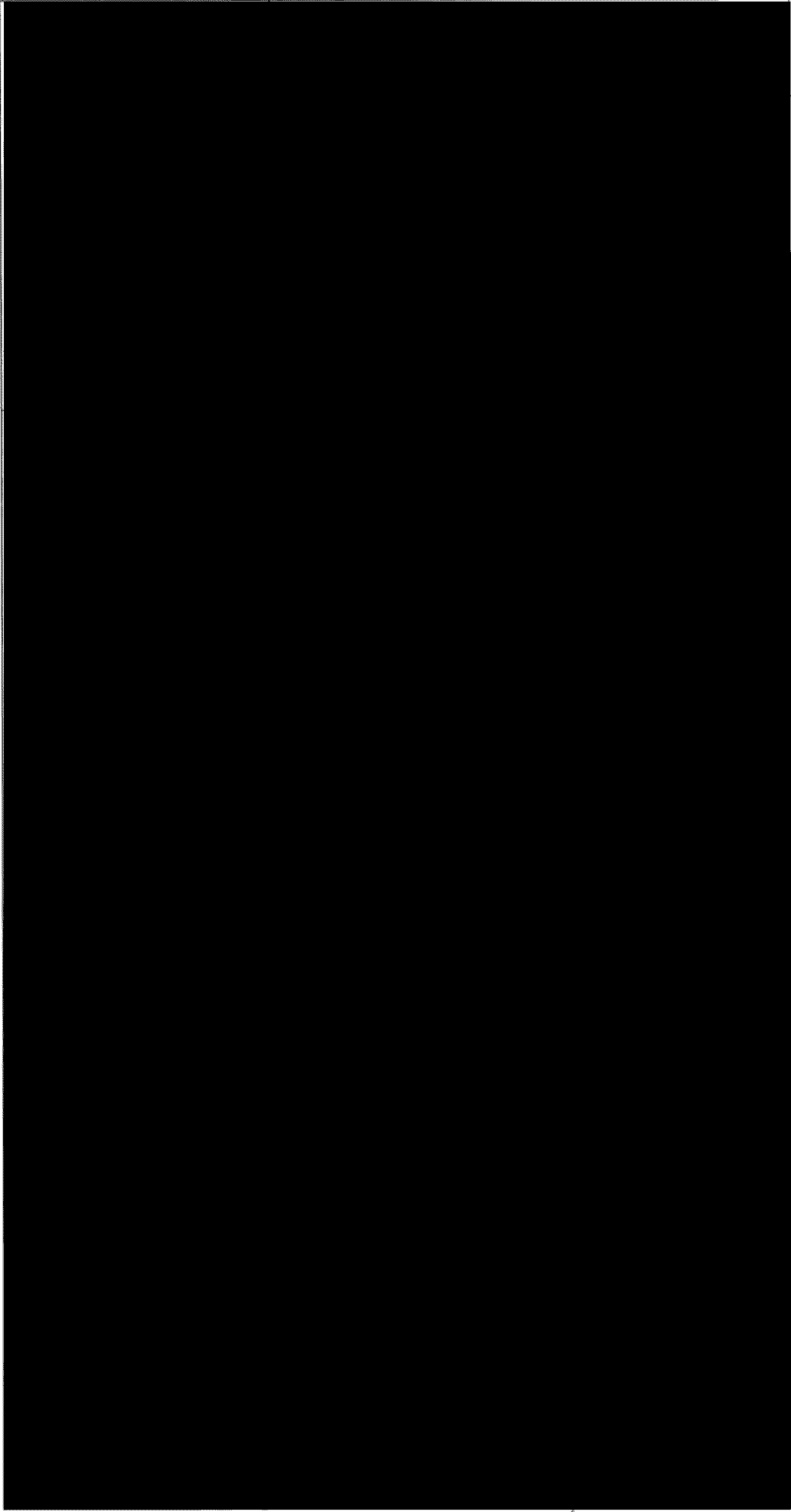
別添2  
(1/2)

工事計画認可申請 第7-1-41図

美浜発電所 第3号機

原子炉格納施設に係る機器の  
配置を明示した図面  
(圧力低減設備その他の安全設備  
(放射性物質濃度制御設備及び  
可燃性ガス濃度制御設備並びに  
格納容器再循環設備))  
■ (E.L. ■)

関西電力株式会社



工事計画認可申請	第7-1-43図
英 漢 発 電 所 第 3 号 機	
原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質汚染制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備)) [社名] (株) [住所] [建物名] 建屋 (E.L. [住所])	
関西電力株式会社	

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-25

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-25

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月14日  
至 令和2年9月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録







## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-25

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月15日 17	良	足立 恭二 	東電原子炉主任技術者  水行一、タービン主任技術者  東電主任技術者 	22 ✓

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号;1-25

検査年月日：令和2年 9 月 <sup>14</sup>/<sub>15</sub> 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年9月<sup>14</sup>/<sub>15</sub>/<sub>17</sub>日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	<del>立会</del> 記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年 9 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 発電機 ※別添4～7			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 絶縁耐力検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1008、M3-3-1009 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：令和2年9月14日に記録確認を実施（B空冷式非常用発電装置において目視で確認した範囲を除く。）。			

# 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年 9 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 ※別添1～7 内燃機関 発電機			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能検査 警報検査 インターロック検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1008、M3-3-1009 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：令和2年9月14日に記録確認を実施（B空冷式非常用発電装置を除く。）。			

# 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年 9 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 ※別添1～7 内燃機関 発電機			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能検査 警報検査 インターロック検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1008、M3-3-1009 <del>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</del> ※1：B空冷式非常用発電装置について、令和2年9月15日に目視で確認した範囲以外を確認。			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年 9 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 ※別添1~7 内燃機関 発電機			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 運転性能	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1008、M3-3-1009 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：令和2年9月14日に記録確認(B空冷式非常用発電装置を除く。)。			



関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)  
(立会検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年9月15日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
非常用発電装置 B空冷式非常用発電装置	外観検査	-	良	目 視
非常用発電装置 B空冷式非常用発電装置	機能検査 警報検査 インターロック検査	-	良	
以下余白				
備考 警報検査及びインターロック検査については、「非常停止」及び「電流高」を確認。				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年9月17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
非常用発電装置 B空冷式非常用発電装置	性能検査 運転性能検査	別添8参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-25

検査年月日：令和2年9月17日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査 (発電機容量)	電力計				2019/04/24	
					2021/04/30	
運転性能検査 (発電機電圧)	電圧計				2019/04/24	
					2021/04/30	
運転性能検査 (運転時間)	ストップ ウォッチ				2019/09/17	
					2022/09/16	
運転性能検査 (燃料の使用量)	直尺				2019/08/28	
					2021/08/27	
運転性能検査 (回転速度)	回転計				2020/09/11	
					2024/09/10	
運転性能検査 (冷却水温度)	温度計	2020/09/11				
		2024/09/10				
運転性能検査 (潤滑油温度)	温度計	2020/09/11				
		2024/09/10				
運転性能検査 (潤滑油圧力)	圧力計	2020/09/11				
		2024/09/10				
運転性能検査 (周波数)	周波数計	2020/09/11				
		2024/09/10				
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

- イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

名称		変更前	変更後
種類	—		空冷式非常用発電装置内燃機関
出力	kW/個		ディーゼル機関
回転速度	rpm		1,540
燃料の種類	—		1,800
燃料の使用量	ℓ/h/個		A重油
個数	—		397
系統名 (ライン名)	—		2
設置床	—		
溢水防護上の 区画番号	—		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		
取付箇所			A空冷式非常用発電装置内燃機関 A空冷式非常用発電装置 B空冷式非常用発電装置内燃機関 B空冷式非常用発電装置
種類	—		
出口の圧力	kPa		排気タービン式
回転速度	rpm		173.2
個数	—		90,000
取付箇所	—		8 (機関1台につき4)
過給機			

□ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類  
 (空冷式非常用発電装置)

名称		変更前	変更後
種	類	—	調速装置
			電気式

名称		変更前	変更後
種	類	—	非常調速装置
			電気式

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

変更前		変更後	
名称		冷却水ポンプ	
種類	—	うず巻形	
容量	ℓ/min/個	1,850 以上 (1,850 (注1))	
個数	—	2 (機関1台につき1)	
取付箇所	系 (ライン名)	A冷却水ポンプ	B冷却水ポンプ
	設置床	A空冷式非常用発電装置	B空冷式非常用発電装置
	溢水防護上の番号		
	溢水防護上の高さ配慮が必要な高さ		

(注1) 公称値

(5) 発電機に係る次の事項  
 イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、回転速度、結線法、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所  
 ・常設

(空冷式非常用発電装置)

変更前		変更後	
名称	種類	空冷式非常用発電装置	
容量	—	防滴保護、空気冷却自己自由通風型	
容量	kVA/個	1,825	
主要寸法	mm	2,326 (注1)	
横	mm	1,753 (注1)	
高さ	mm	1,572 (注1)	
力率	%	80 (遅れ)	
電圧	V	6,600	
相	—	3	
周波数	Hz	60	
回転速度	rpm	1,800	
結線法	—	星形	
冷却方法	—	空冷	
個数	—	2	
系統名	—	A空冷式非常用発電装置	B空冷式非常用発電装置
(ライン名)	—	—	—
設置床	—		
溢水防護上の区画番号	—		
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

変更前		変更後	
名称	—	励磁装置	
種類	—	ブラシレス方式 (PMG付)	
容量	VA/個	78 (注)	
個数	—	2	
取付箇所	系統名	A励磁装置	B励磁装置
	設置床	A空冷式非常用発電装置	B空冷式非常用発電装置
	溢水防護上の番号		
	溢水防護上の高さ配慮が必要な高さ		

(注1) 励磁機界磁の値



ハ 保護継電装置の名称及び種類  
(空冷式非常用発電装置)

	変更前	変更後
名 称	—	遮断器盤
類		不足電圧継電器
		過電圧継電器
		過電流継電器

ニ 原動機との連結方法  
(空冷式非常用発電装置)

	変更前	変更後
連 結 方 法	—	直結

# 運転性能検査記録

確認項目	機関出力 (kW) ※6	発電機出力 (kW) ※8	発電機容量 (kVA) ※1	発電機電圧 (V)			発電機周波数 (Hz) ※4	発電機回転速度 (rpm) ※4	シリンダ冷却水温度 (°C) ※3	エンジン潤滑油圧力 (kPa) ※3	エンジン潤滑油温度 (°C) ※3	燃料の使用量 (ℓ/h)	運転状態に異常がないこと	備考
				R-S	S-T	T-R								
				測定値										
工事計画記載値	1,540	—	1,825	6,600			60	1,800	—	—	397			
許容値	1,540以上※2	1,460以上※8	1,825以上※2	6,600±330※4			60±1.2※4	1,800±36※4	100.5以下※3	450以上※3	109.5以下※3	397±5%以下※3,7		
運転時間	測定値	測定値	測定値	測定値			測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値		
0分	1554	1478.0	1847	6516	6526	6521	60.0	1799	83.6	659	98.9	—		
10分	1553	1477.2	1846	6511	6521	6515	60.1	1801	84.7	661	103.1	—		
20分	1553	1477.2	1846	6513	6523	6519	60.0	1800	86.2	652	104.7	—		
30分	1551	1475.6	1844	6510	6523	6519	60.0	1800	85.7	658	104.9	—		
40分	1553	1477.0	1846	6512	6524	6518	60.0	1798	87.1	644	105.6	—		
50分	1551	1475.1	1843	6513	6521	6517	60.0	1799	89.6	637	107.6	—		
60分	1549	1473.1	1841	6495	6506	6517	60.1	1802	91.9	648	108.8	378		

備考

※1：発電機容量は発電機出力を発電機効率0.8※5で除した値を計算値として記載する。

※2：許容値は工事計画による。

※3：許容値は申請者管理値による。

※4：許容値はJEC-2130による。

※5：発電機効率は工事計画の表記（機器銘板の表記）

※6：機関出力=発電機出力kW/発電機効率(0.951)

※7：燃料の使用量(ℓ/h) = 1.554 (m³) × 1時間当たりの燃料油サービスタンク低下量 (m) × 1000

※8：工事計画記載値(機関出力及び発電機容量)を満足するための申請者管理値

※9：100%計画開始時

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：非常用電源設備

その他の電源装置（非常用のものに限る。）

無停電電源装置

要領書番号：原規規収第1712152号1-26-1

令和2年1月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第343号(平成29年12月15日)  
関原発第427号(平成30年3月16日)  
関原発第62号(平成30年4月20日)  
関原発第158号(平成30年6月25日)  
関原発第201号(平成30年7月4日)  
  
以下別紙1参照
- 4 検査期日 自平成30年11月8日  
至令和2年1月17日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所  
福井県三方郡美浜町丹生  
三菱電機株式会社 電力システム製作所  
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
非常用電源設備  
その他の電源装置(非常用のものに限る。)  
無停電電源装置  
SA監視計器用電源 1個
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第 414 号 (平成 30 年 12 月 5 日)

関原発第 517 号 (平成 31 年 2 月 6 日)

関原発第 61 号 (令和元年 5 月 16 日)

関原発第 121 号 (令和元年 6 月 28 日)

関原発第 167 号 (令和元年 7 月 25 日)

関原発第 216 号 (令和元年 9 月 2 日)

### 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
外観検査		年 月 日	年 月 日
		印	主任技術者 印
警報保護装置検査	良	平成30年11月8日	平成30年11月8日
		橋 昌司 環境技官 河田 拓也	電気 主任技術者
系統運転性能検査		年 月 日	年 月 日
		印	主任技術者 印

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- ~~2 外観検査記録~~
- 3 警報保護装置検査記録
- ~~4 系統運転性能検査記録~~
- ~~5 検査用計器一覧表~~

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
外観検査	良	令和2年1月16日	令和2年1月16日
		高橋和宏	電気 主任技術者
警報保護装置検査	良	令和2年1月16日	令和2年1月16日
		高橋和宏	電気 主任技術者
系統運転性能検査	良	令和2年1月17日	令和2年1月17日
		高橋和宏	電気 主任技術者

8 特記事項

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 外観検査記録
- 3 警報保護装置検査記録
- 4 系統運転性能検査記録
- 5 検査用計器一覧表



## 美浜発電所第3号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月8日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成30年 11月8日	良	
		令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		

## 美浜発電所第3号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 美浜発電所第3号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 警報保護装置検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 11月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
回路構成が完了していること。	<u>立会</u> 記録確認	平成30年 11月8日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

## 美浜発電所第3号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 警報保護装置検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 1月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
回路構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和2年 1月16日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

## 美浜発電所第3号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 系統運転性能検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和 2 年 1 月 17 日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和 2 年 1 月 17 日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和 2 年 1 月 17 日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

## 外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備

その他の電源装置（非常用のものに限る。）

無停電電源装置

SA監視計器用電源

判定基準：工事計画のとおり製作、据付けされ、有害な欠陥がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
SA監視計器用電源	令和2年 1月16日	良	目視

備考

美浜発電所第3号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源装置 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象								検査結果	備考		
			盤面警報・表示											
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障					
重故障	直流電圧異常重 [UF102]	直流回路電圧 200V以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	
	ファン回路異常重 [UF212]	ファン電源断	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	
	ファン回路異常重 [UF213]	ファン温度異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	
	ファン回路異常重 [UF214]	ファン異常重(2台)	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	
	制御回路異常重 [UF304]	制御回路異常重 [UF304]	リレーボード伝送異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認
			+15V電源異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認
制御回路異常重 [UF306]	制御回路異常重 [UF306]	-15V電源異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	
		24V電源異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	良	(目視)記録確認	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0906

美浜発電所第3号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象								検査年月日	検査結果	備考						
			盤面警報・表示																
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障										
重故障	出力電圧異常重 [UF201]	出力電圧 +15%以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	目視記録確認		
	出力電圧異常重 [UF202]	出力電圧 -15%以下	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認	
	インバータ故障 [UF203]	インバータ電流が定格電流の1250%以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認	
過負荷	直流スイッチ異常 [UF107]	72BC 開指令異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認
	過負荷 [UA806]	定格出力の105%以上125%未満10分継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認
	過負荷 [UA808]	定格出力の125%以上150%未満10秒継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認
	過負荷 [UA809]	定格出力の150%以上0.5秒継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	良	目視記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0906



美浜発電所第3号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源装置 非常用電源装置 (非常用のものに限る。)

無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査年月日	検査結果	備考							
			盤面警報・表示																
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障										
軽故障	ファン回路異常 軽 [UF254]	ファン異常 軽 (1台) (88THF1)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認				
		ファン異常 軽 (1台) (88THF2)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
	制御回路異常 軽 [UF351]	制御電源ヒューズ断	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		表示用制御電源異常 (SW1, 12)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
出力電圧異常 軽 [UF256]	出力電圧+5%以上 60秒継続	表示用制御電源異常 (SW13, 14)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		出力電圧+5%以上 60秒継続	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
	出力電圧-5%以下 60秒継続	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
直流入力電圧異常 軽 [UF171]	直流入力電圧異常	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0906

美浜発電所第3号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源装置 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象								検査年月日	検査結果	備考						
			盤面警報・表示																
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障	重故障									
軽故障	NFB トリップ異常 [UF458]	52Rトリップ	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認				
		8Aトリップ	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		52Lトリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		72Bトリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		8DDトリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
直流運転	整流器故障軽 [UF052]	52RC指令と状態の不一致	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認			
		整流器故障軽 [UF056]	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認		
		直流入力ヒューズ断 [UF172]	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認		
直流運転	制御回路異常 [UA826]	ヒューズ断 (FBP)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良	(目視)記録確認
		8A開放	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年1月16日	良

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。  
※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0906

美浜発電所第3号機													
警報保護装置検査記録 (現地)													
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所													
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設													
非常用電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源													
判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。													
項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査結果	備考		
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障				
重故障	制御回路異常重 [UF301]	AD/DA 異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年 1月16日	良	記録確認
	制御回路異常重 [UF302]	SQ-DSP 異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年 1月16日	良	記録確認
	制御回路異常重 [UF303]	CN-DSP 異常	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年 1月16日	良	記録確認
	整流器故障軽 [UF056]	コンバータ過電流 10秒継続	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和2年 1月16日	良	記録確認

備考  
・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。  
※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0906

美浜発電所第3号機

警報保護装置検査記録 (工場)

検査場所：三菱電機株式会社 電力システム製作所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象								検査結果	備考			
			盤面警報・表示												
			直流起動	交流運転	直流運転	直流通転	軽故障	放電終止	過負荷停止	重故障					
重故障	直流電圧異常 [UF103]	直流回路電圧 90V以下	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
放電終止	放電終止 [UA834]	直流入力 電圧低下 (100V以下)	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
軽故障	ダイオード スタック異常 軽 [UF170]	直流電源側への 充電電流あり (20A以上)	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
	整流器故障 軽 [UF059]	コンバータ異常	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
直流運転	交流入力電源異常 [UA801]	入力電源電圧 +18%以上	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
		入力電源電圧 -30%以下	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
	交流入力電源異常 [UA802]	入力電源周波数 +7%以上	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認
		入力電源周波数 -7%以下	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 11月8日	良	理想 記録確認

備考

記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号

美浜発電所第3号機										
系統運転性能検査記録										
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所										
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 その他の電源装置（非常用のものに限る。） 無停電源装置 SA監視計器用電源										
判定基準	交流及び直流入力運転、交流入力運転、直流入力運転において、出力電圧、出力周波数が許容範囲内であること。									
	検査対象	出力電圧 (V)		出力周波数 (Hz)		出力電流 (A) (参考値)	検査 年月日	検査 結果	検査方法	
工事計画記載値 許容範囲※1		測定値	工事計画記載値 許容範囲※1	測定値						
交流及び 直流入力運転 (通常運転時)	115 ±2.3	115.83	60 ±0.06	60.000	61.2	令和2年 1月17日	良	①目視/ 記録確認		
交流入力運転 (72B開放時)	115 ±2.3	115.85	60 ±0.06	60.000	61.1	令和2年 1月17日	良	①目視/ 記録確認		
直流入力運転 (52R開放時)	115 ±2.3	115.77	60 ±0.06	60.000	61.1	令和2年 1月17日	良	①目視/ 記録確認		
備考	※1：許容範囲はメーカー基準による。 <del>記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。</del> <del>※2：適合性確認検査成績書の識別番号。</del>									

## 美浜発電所第3号機 使用前検査

## 検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年1月17日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統運転 性能検査	デジタルマ ルチメータ				2019.6.20	
					2020.6.19	
系統運転 性能検査	デジタルマ ルチメータ				2019.6.20	
					2020.6.19	
以下余白						

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-26-2

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-26-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月15日  
至 令和2年11月4日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第343号 (平成29年12月15日)
	関原発第427号 (平成30年 3月16日)
	関原発第 62号 (平成30年 4月20日)
	関原発第158号 (平成30年 6月25日)
	関原発第201号 (平成30年 7月 4日)
	関原発第414号 (平成30年12月 5日)
	関原発第517号 (平成31年 2月 6日)
	関原発第 61号 (2019年 5月16日)
	関原発第121号 (2019年 6月28日)
	関原発第167号 (2019年 7月25日)
	関原発第216号 (2019年 9月 2日)
	関原発第640号 (2020年 3月24日)
	関原発第650号 (2020年 3月30日)
	関原発第 30号 (2020年 4月 7日)
	関原発第239号 (2020年 8月21日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 9月15日</p>	<p>良</p>	<p>足立 恭二</p>	<p>発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 電装主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 9 月 15 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 9 月 15 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 9 月 15 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 その他の電源装置（非常用のものに限る。） 無停電電源装置 可搬式整流器 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0912 <del>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</del> ※1：別紙1参照			



その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

3 その他の電源装置（非常用のものに限る。）に係る次の事項

(1) 無停電電源装置の名称、種類、容量、電圧、周波数、主要寸法、個数及び取付箇所

・可搬型

名称		変更前	変更後
種類	—		可搬式整流器 (注1)
容量	A/個		整流器
電圧	V		100
周波数	Hz		0~150
主要寸法	たて		45~65
	横		1, 294 (注2)
	高さ		700 (注2)
個数	—		1, 263 (注2)
取付箇所	—		2 (予備1)
保管場所:			
取付箇所:			

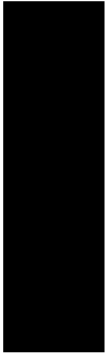

(注1) 可搬式整流器は、「整流器、降圧変圧器」で構成する。

(注2) 公称値

(注3) ケーブル接続箇所を示す。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-26-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 <del>印</del>	検査立会責任者 <del>印</del>	特記事項
令和2年 11月4日	良	須貝実	塩久 主任技術者  ボロークービン主任技術者 	なし

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 11 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	



## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 11月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

## 関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-26-2

検査年月日：令和2年 11月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検 査 対 象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 発電機 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1034 <del>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</del>			

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名 称			—	電源車内燃機関 (注1)
機 関	種 類	—		ディーゼル機関
	出 力	kW/個		565
	回 転 速 度	rpm		1,800
	燃 料 の 種 類	—		軽油又はA重油
	燃 料 の 使 用 量	ℓ/h/個		126.0
	個 数	—		1 (注2)
	取 付 箇 所	—		
過 給 機	種 類	—		排気タービン式
	出 口 の 圧 力	kPa		200
	回 転 速 度	rpm		62,000
	個 数	—		1 (注2)
	取 付 箇 所	—		

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(緊急時対策所用))

			変更前	変更後
名称				(注1) 電源車(緊急時対策所用)内燃機関
機関	種類	—		ディーゼル機関
	出力	kW/個		199
	回転速度	rpm		1,800
	燃料の種類	—		軽油又はA重油
	燃料の使用量	ℓ/h/個		49.3
	個数	—	—	1 (注2)
	取付箇所	—		
過給機	種類	—		排気タービン式
	出口の圧力	kPa		91.5
	回転速度	rpm		74,500
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		

(注1) 電源車(緊急時対策所用)の附属機器である。

(注2) 電源車(緊急時対策所用)1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名称				(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用) 内燃機関
機関	種類	—		ディーゼル機関
	出力	kW/個		565
	回転速度	rpm		1,800
	燃料の種類	—		軽油又はA重油
	燃料の使用量	ℓ/h/個		126.0
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		
過給機	種類	—		排気タービン式
	出口の圧力	kPa		200
	回転速度	rpm		62,000
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		

(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)の附属機器である。

(注2) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)1台当たりの個数を示す。

ロ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類

(電源車)

		変更前	変更後
名称		-	調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車の附属機器である。

		変更前	変更後
名称		-	非常調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車の附属機器である。

(電源車 (緊急時対策所用))

		変更前	変更後
名称		-	調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車 (緊急時対策所用) の附属機器である。

		変更前	変更後
名称		-	非常調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車 (緊急時対策所用) の附属機器である。

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

		変更前	変更後
名称		-	調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

		変更前	変更後
名称		-	非常調速装置 (注1)
種類	-		電気式

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

## ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

## ・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名 称			—	冷却水ポンプ (注1)
種 類	—	うず巻形		
容 量	ℓ/min/個	990 以上 (990 (注2))		
個 数	—	1 (注3)		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 電源車1台当たりの個数を示す。

## ・可搬型

(電源車 (緊急時対策所用) )

			変更前	変更後
名 称			—	冷却水ポンプ (注1)
種 類	—	うず巻形		
容 量	ℓ/min/個	370 以上 (370 (注2))		
個 数	—	1 (注3)		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (緊急時対策所用) の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 電源車 (緊急時対策所用) 1台当たりの個数を示す。

## ・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) )

			変更前	変更後
名 称			—	冷却水ポンプ (注1)
種 類	—	うず巻形		
容 量	ℓ/min/個	990 以上 (990 (注2))		
個 数	—	1 (注3)		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

(注2) 公称値

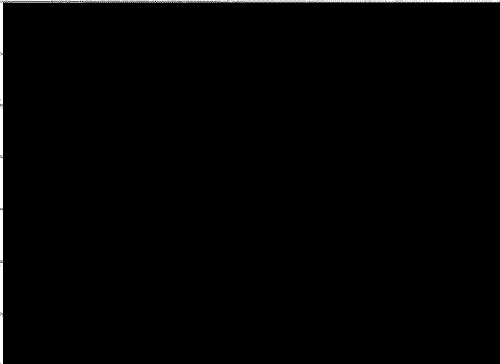

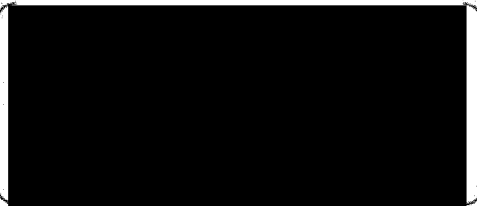
(注3) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 1台当たりの個数を示す。

(5) 発電機に係る次の事項

イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変 更 前	変 更 後
名 称				電源車
種 類	—			回転界磁形同期発電機
容 量	kVA/個			610 (注1)
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
	車 両 全 長	mm		
	車 両 全 幅	mm		
	車 両 高 さ	mm		
力 率	%			440 (注1)
電 圧	V			3
相	—			60
周 波 数	Hz			1,800
回 転 速 度	rpm			星形
結 線 法	—			自由通風形
冷 却 方 法	—			2 (予備1)
個 数	—			保管場所： 
取 付 箇 所	—			取付箇所： 



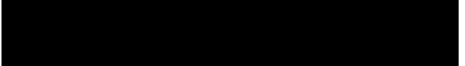
(注1) 750kVAの変圧器により6,600Vに昇圧する。

(注2) 公称値



・可搬型


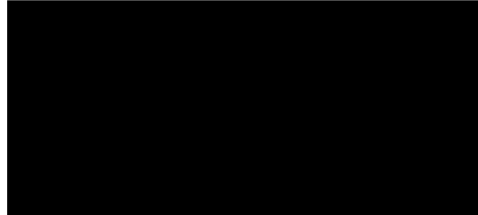
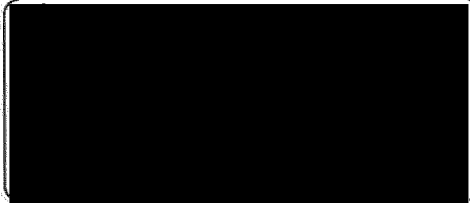
(電源車 (緊急時対策所用) )

			変 更 前	変 更 後
名 称				電源車 (緊急時対策所用)
種 類	—			回転界磁形同期発電機
容 量	kVA/個			220
主要寸法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
	車 両 全 長	mm	6,880 (注1)	
	車 両 全 幅	mm	2,310 (注1)	
	車 両 高 さ	mm	3,122 (注1)	
力 率	%			80 (遅れ)
電 圧	V			440
相	—			3
周 波 数	Hz			60
回 転 速 度	rpm			1,800
結 線 法	—			星形
冷 却 方 法	—			自由通風形
個 数	—			2 (予備1)
取 付 箇 所	—			保管場所：  取付箇所： 

(注1) 公称値

・可搬型

(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変 更 前	変 更 後
名 称				電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)
種 類	—			回転界磁形同期発電機
容 量	kVA/個			610
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
	車 両 全 長	mm		
	車 両 全 幅	mm		
	車 両 高 さ	mm		
力 率	%			
電 圧	V			
相	—			
周 波 数	Hz			
回 転 速 度	rpm			
結 線 法	—			
冷 却 方 法	—			
個 数	—			2 (予備1)
取 付 箇 所	—			保管場所：  取付箇所： 

(注1) 公称値

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名 称			—	励磁装置 <sup>(注1)</sup>
種 類	—	ブラシレス方式 (AVR付)		
容 量	kVA/個	14		
個 数	—	1 <sup>(注2)</sup>		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車 (緊急時対策所用))

			変更前	変更後
名 称			—	励磁装置 <sup>(注1)</sup>
種 類	—	ブラシレス方式 (AVR付)		
容 量	kVA/個	6.8		
個 数	—	1 <sup>(注2)</sup>		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (緊急時対策所用) の附属機器である。

(注2) 電源車 (緊急時対策所用) 1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名 称			—	励磁装置 <sup>(注1)</sup>
種 類	—	ブラシレス方式 (AVR付)		
容 量	kVA/個	14		
個 数	—	1 <sup>(注2)</sup>		
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

(注2) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 1台当たりの個数を示す。

ハ 保護継電装置の名称及び種類

(電源車)

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	保護継電装置 (注1)
種 類			過電流継電器
			漏電継電器

(注1) 電源車の附属機器である。

(電源車 (緊急時対策所用) )

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	保護継電装置 (注1)
種 類			過電流継電器
			漏電継電器

(注1) 電源車 (緊急時対策所用) の附属機器である。

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) )

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	保護継電装置 (注1)
種 類			過電流継電器
			漏電継電器

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

ニ 原動機との連結方法

(電源車)

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法		—	直結

(電源車 (緊急時対策所用) )

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法		—	直結

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) )

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法		—	直結

関西電力株式会社  
美浜発電所第3号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-27

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-27

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月17日  
至 令和2年9月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 9月17日</p>	<p>良</p>	<p>足立 恭二</p> 	<p>発電用原子炉 主任技術者</p>  <p>曹俊 主任技術者</p> 	<p>なし</p>



関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号;1-27

検査年月日: 令和2年 9 月 17 日

検査場所: 関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-27

検査年月日：令和2年 9 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-27

検査年月日：令和2年 9 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 その他の電源装置 電力貯蔵装置 可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0911 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：別紙1			


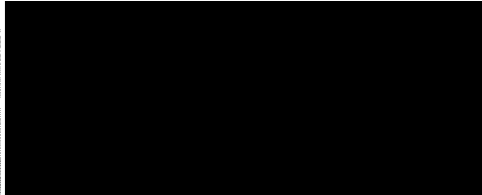
その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

3 その他の電源装置（非常用のものに限る。）に係る次の事項

(2) 電力貯蔵装置の名称、種類、容量、電圧、主要寸法、個数及び取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)
種 類	—			リチウムバッテリー電源装置
容 量	Wh/個			
電 圧	V			
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
個 数	—			1 (予備1)
取 付 箇 所	—			

(注1) 公称値